

道 路 標 準 構 造 図

令和 5 年 4 月〔改訂 〕

平成 2 年 4 月〔初 版 〕
平成 3 年 7 月〔改訂 〕
平成 1 2 年 4 月〔改訂 〕
平成 1 3 年 4 月〔改訂 〕
平成 1 5 年 4 月〔改訂 〕
平成 1 6 年 4 月〔改訂 〕
令和 5 年 4 月〔改訂 〕

平 塚 市

総則

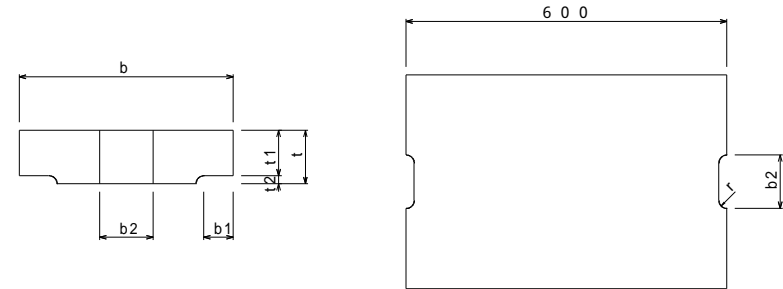
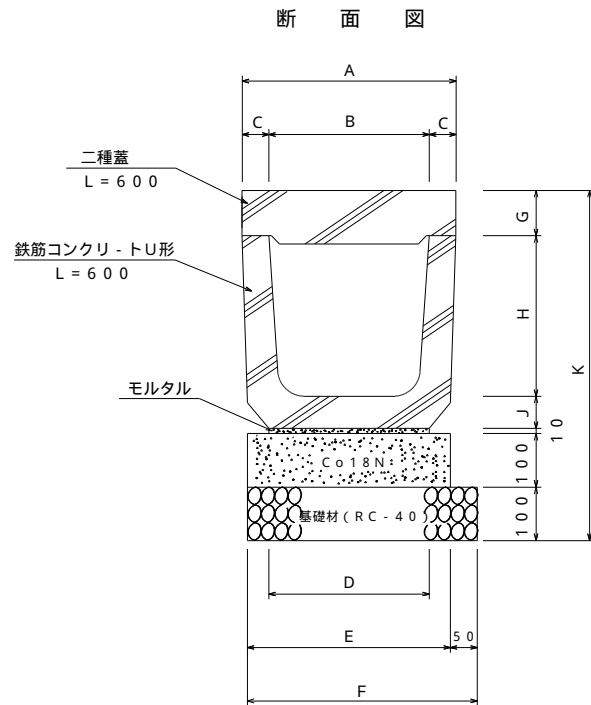
使用上の注意事項

- 1 本道路標準構造図は、平塚市内の道路の設計、積算、施工に適用するものであり、道路構造物の平準化、統一化、共通化を図ることを目的に定めたものである。
- 2 ここでの標準とは、あくまで標準的な条件及び状況、場所等を勘案して図面化したものであり、特別な設計条件、設置場所、施工状況となる場合は、その条件に適した設計としなければならないことに充分留意する。
- 3 本道路標準構造図は、必要最小限の寸法を記しているため、施工する便宜上、材質や大きさなど施工者の都合による変更は構造物の機能、品質、耐荷力などが劣らない限り可能とする。ただし、事前に道路管理者と協議のうえ承認を得るものとする。
- 4 プレキャスト製品や鋼製品などは、製品メーカーにより寸法が異なるが、設計・積算を標準化するため、JIS規格品や汎用性のあるものを記載している。機能や性能が同等以上であれば類似品の使用も可能とする。

大分類	中分類	小分類	規格	ページ
排水工	側溝	プレキャストU形側溝工	上ふた式	1
			落ちふた式	2
		プレキャストL形側溝工	300用	3
		現場打側溝工	300側溝蓋	4
			300床版	5
			400床版	6
			450床版	7
			500床版	8
			600床版	9
		現場打床版工	300側溝蓋補修	10
		現場打横断側溝工	300グレーチング	11
			450グレーチング	12
		プレキャスト管渠形側溝工	縁石一体型側溝	13
		自由勾配側溝工	300用	14
			400用	15
			500用	16
			600用	17
			300用(土留タイプ)	18
			400用(土留タイプ)	19
			500用(土留タイプ)	20
			600用(土留タイプ)	21
		自由勾配側溝蓋	現場打タイプ	22
	暗渠	プレキャスト横断暗渠工	240~600用	23
	街渠	L形街渠工	マウントアップ式	24
			セミフラット式	25
			切下げ平B-7,セイフティ	26
			切下げ型,切下げ平B-10	27
		L形管渠工	マウントアップ式	28
			セミフラット式	29
		プレキャストボックス側溝工	マウントアップ式	30
			セミフラット式	31

大分類	中分類	小分類	規格	ページ	
排水工	柵	L形雨水柵工	300用 G蓋	32	
		プレキャスト管渠形側溝柵工	300~400用LM	33	
		現場打集水柵工	450用 G蓋	34	
			600用 G蓋	35	
			800用 G蓋	36	
			歩道450用細目 G蓋	37	
			L形街渠柵工	マウントアップ式	38
		プレキャストボックス側溝柵工	セミフラット式	39	
			マウントアップ式	40	
		セミフラット式		41	
			交通安全 施設工	車両用 防護柵	ガードレール工
ガードパイプ工	コンクリート建込	43			
ガードパイプ工	土中建込	44			
歩行者 自転車用柵	横断防止柵工	P種 ビーム		45	
	転落防止柵工	P種 縦柵パネル		46	
		P種 ビーム・縦柵パネル		47	
視線誘導標	視線誘導標設置工	土中、コンクリート、ガードレール		48	
車止	車止めポスト設置工			49	
道路反射鏡	道路反射鏡基礎工	1面		50	
		2面		51	
付帯工		舗装止工(縁石工)		地先境界ブロック	52
			現場打コンクリート	53	
		アスカープ設置工	並木柵工、植樹帯工		54
					55
		ブロック舗装	インターlockingブロック	56	
			視覚障害者誘導用ブロック	57	
		自転車通行帯	路面標示、ビクトグラム	58	
		道路照明灯設置工	直線タイプ・ポール、単独	59	
			直線タイプ・ポール、連続	60	

上ふた式U形側溝工



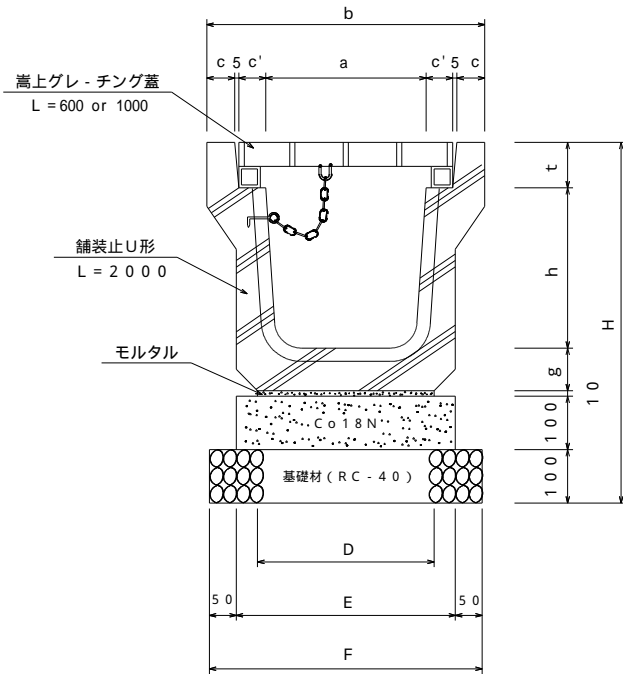
注意事項

- 鉄筋コンクリートU形は、JIS A 5372 1種を標準とする。
- 鉄筋コンクリートU形用蓋は、JIS A 5372 2種を使用する。
- 目地間隔は、5mmとする。

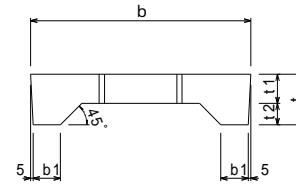
規格	寸法表 (単位mm)																	材料表 (10m当り)					
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	b	b1	t	t1	t2	r	b2	コンクリート	基礎砕石	型枠	モルタル	RC U形	2種蓋
240	330	240	45	240	320	370	85	240	50	585	330	50	100	85	15	15	90	0.32 m ³	0.37 m ³	2.0 m ²	0.02 m ³	16.5 個	16.5 個
300A	400	300	50	300	380	430	85	240	60	595	400	55	100	85	15	15	100	0.38	0.43	2.0	0.03	16.5	16.5
300B	400	300	50	300	380	430	85	300	60	655	400	55	100	85	15	15	100	0.38	0.43	2.0	0.03	16.5	16.5
300C	400	300	50	300	380	430	85	360	65	720	400	55	100	85	15	15	100	0.38	0.43	2.0	0.03	16.5	16.5
360A	460	360	50	360	440	490	85	300	65	660	460	55	100	85	15	18	120	0.44	0.49	2.0	0.04	16.5	16.5
360B	460	360	50	360	440	490	85	360	65	720	460	55	100	85	15	18	120	0.44	0.49	2.0	0.04	16.5	16.5
450	560	450	55	430	540	590	100	450	70	830	560	60	120	100	20	18	120	0.54	0.59	2.0	0.04	16.5	16.5
600	740	600	70	600	700	750	130	600	80	1020	740	75	150	130	20	18	150	0.70	0.75	2.0	0.06	16.5	16.5

落ちふた式U形側溝工

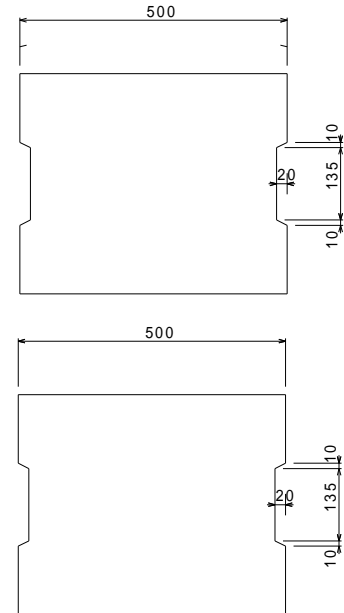
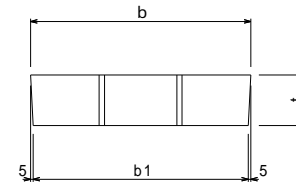
断面図



1 種



3 種



注意事項

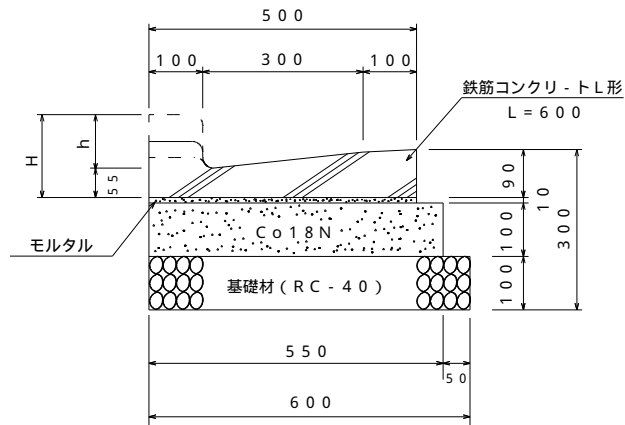
- 鉄筋コンクリートU形は、JIS A 5372 3種を標準とする。
- 高さグレ・チング蓋は、ノンスリップ加工とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
- 鉄筋コンクリートU形蓋は、JIS A 5372 3種を標準とする。
- 指定により細目グレ・チング蓋を使用する場合は、手掛け付きを使用する。
- グレ・チング蓋の仕様については、事前に承認を受けるものとする。
- グレ・チング蓋は、鎖付き（フック付アンカー）とし、耐荷重T-2.5を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。

規格	寸法表 (単位mm)										材料表 (1.0m当り)							
	a	b	c	c'	D	E	F	g	h	H	t	コンクリート	基礎碎石	型枠	モルタル	舗装止U形	3種蓋(L=500)	高さG蓋(L=1000)
250	250	460	45	55	300	360	460	65	250	615	90	0.36 m ³	0.46 m ³	2.0 m ²	0.03 m ³	5 個	16 個	2 個
300A	300	520	50	55	360	420	520	70	300	675	95	0.42	0.52	2.0	0.04	5	16	2
300B	300	520	50	55	330	410	510	70	400	775	95	0.41	0.51	2.0	0.03	5	16	2
300C	300	520	50	55	340	420	520	80	500	885	95	0.42	0.52	2.0	0.03	5	16	2
400A	400	630	55	55	430	510	610	70	400	790	110	0.51	0.61	2.0	0.04	5	16	2
400B	400	630	55	55	440	520	620	80	500	900	110	0.52	0.62	2.0	0.04	5	16	2
500A	500	750	60	60	540	620	720	80	500	915	125	0.62	0.72	2.0	0.05	5	16	2
500B	500	750	60	60	550	630	730	90	600	1025	125	0.63	0.73	2.0	0.06	5	16	2

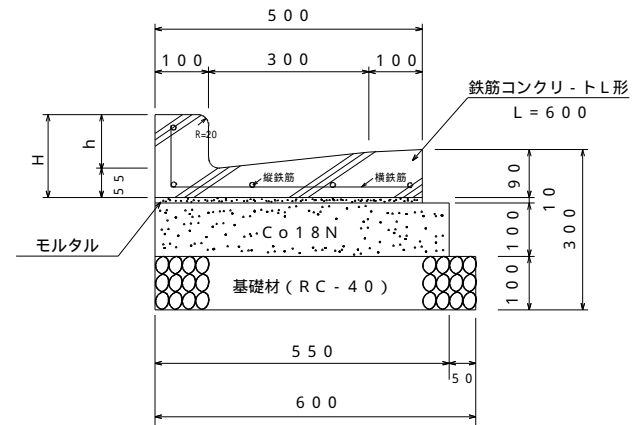
種類	呼び	ふた寸法表 (単位mm)				
		b	b1	t	t1	t2
1種	250	362	50	90	55	35
	300	412	51	95	55	40
	400	512	51	110	65	45
	500	622	56	125	75	50
3種	250	362	352	90		
	300	412	402	95		
	400	512	502	110		
	500	622	612	125		

L形側溝工(300用)
 特殊L形側溝工(300用)

断面図



断面図



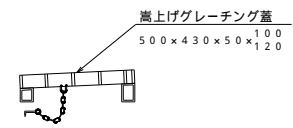
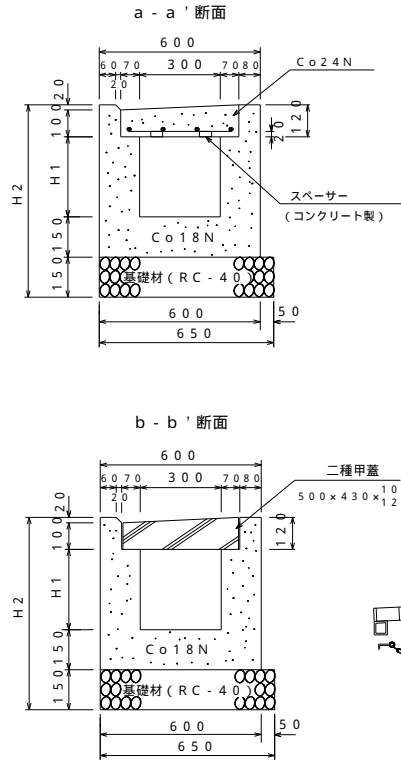
注意事項

1. 鉄筋コンクリートL形は、JIS A 5372 1種を使用する。
2. 路盤上に施工する場合は、基礎材を省略する。
3. 目地間隔は、5mmとする。
4. アゴ高 $h=50\text{mm}$ ($H=105\text{mm}$)を原則とする。

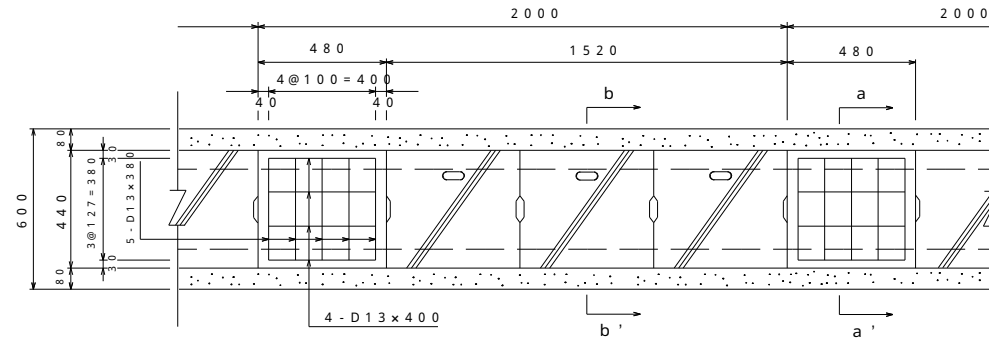
規格	寸法表 (単位 mm)		材料表 (10m当り)				
	h	H	コンクリート	基礎材	型枠	モルタル	RCL形
300	20	75	0.55 m ³	6.0 m ²	2.0 m ²	0.05 m ³	16.5 個
	50	105					
	100	155					

規格	寸法表 (単位 mm)		材料表 (10m当り)				配筋				
	h	H	コンクリート	基礎材	型枠	モルタル	RCL形	縦配筋		横配筋	
				径	数量	径	数量				
300	20	75	0.55 m ³	6.0 m ²	2.0 m ²	0.05 m ³	16.5 個	D10 ^{mm}	5 本	D10 ^{mm}	5 本
	50	105									
	100	155									

現場打側溝工 (300 側溝蓋)



現場打甲蓋配筋図及び配置図

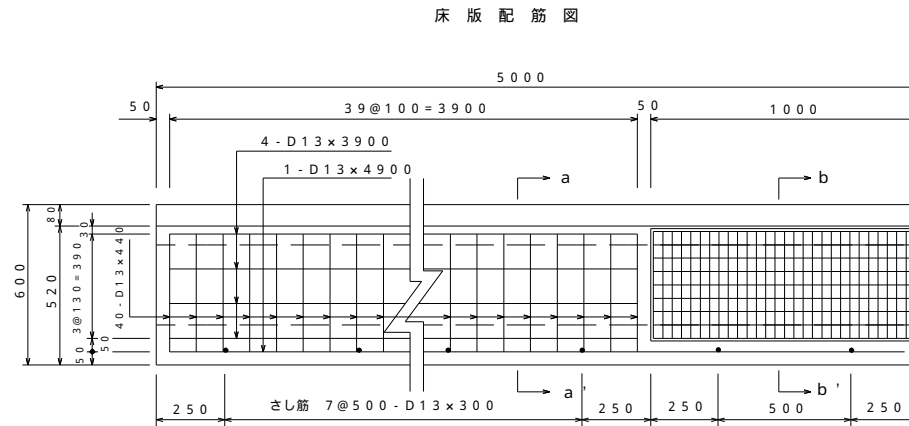
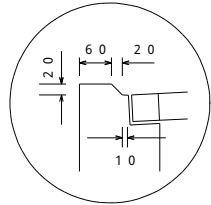
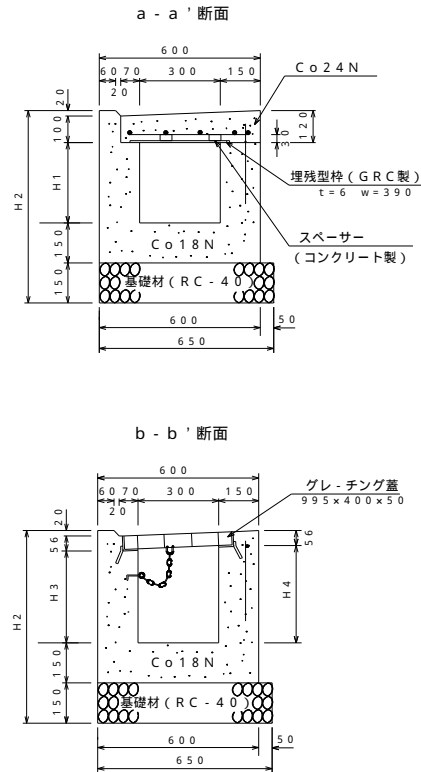


注意事項

1. 製品甲蓋は、平塚市型2種蓋とする。
2. 嵩上グレーチング蓋は、ノンスリップ加工とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
3. 嵩上グレーチング蓋は、鎖付き(フック付アンカー)とし、耐荷重T-25を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。

規格	寸法表(単位 mm)		材 料 表 (10m当り)							
	H 1	H 2	Co18N	Co24N	基礎材	両側型枠	片側型枠	目地材	鉄筋D13	2種甲蓋
300 x 300	300	720	2.0 m ³	0.12 m ³	6.5 m ²	25.4 m ²	19.7 m ²	0.20 m ²	17 kg	15.0 個
350	350	770	2.1	0.12	6.5	27.4	21.2	0.21	17	15.0
400	400	820	2.3	0.12	6.5	29.4	22.7	0.23	17	15.0
450	450	870	2.4	0.12	6.5	31.4	24.2	0.24	17	15.0
500	500	920	2.6	0.12	6.5	33.4	25.7	0.26	17	15.0
550	550	970	2.7	0.12	6.5	35.4	27.2	0.27	17	15.0
600	600	1020	2.9	0.12	6.5	37.4	28.7	0.29	17	15.0

現場打側溝工 (300 床版)



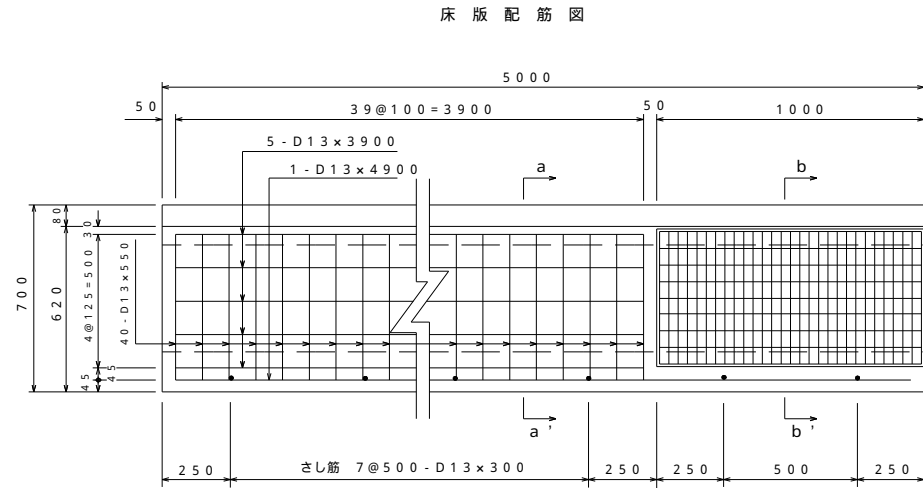
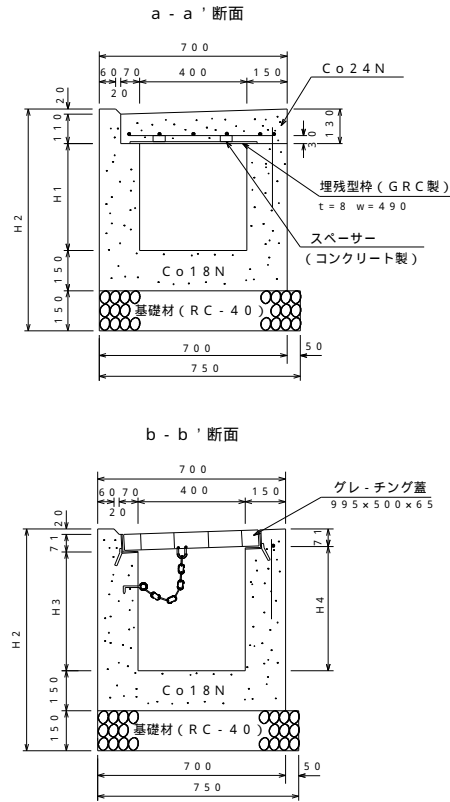
注意事項

1. グレーチング蓋は耐荷重 T-25 を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレーチング蓋はノンスリップ加工を標準とし、横部材の間隔が 50mm のものを使用する。
3. グレーチング蓋は受枠付きを使用し、道路管理者の指示によってはボルト固定、鎖付きアンカー (フック付アンカー) 固定、細目・手掛付きなどを使用するものとする。
4. グレーチング蓋の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

規格	寸法表 (単位 mm)				材 料 表 (10m 当り)								
	H1	H2	H3	H4	Co18N	Co24N	基礎材	両側型枠	片側型枠	埋残型枠	目地材	鉄筋D13	G蓋
300 x 300	300	720	344	364	1.9 m ³	0.46 m ³	6.5 m ²	21.5 m ²	15.8 m ²	3.1 m ²	0.50 m ²	81.8 Kg	2.0 冊
350	350	770	394	414	2.1	0.46	6.5	23.5	17.3	3.1	0.53	81.8	2.0
400	400	820	444	464	2.2	0.46	6.5	25.5	18.8	3.1	0.56	81.8	2.0
450	450	870	494	514	2.4	0.46	6.5	27.5	20.3	3.1	0.59	81.8	2.0
500	500	920	544	564	2.5	0.46	6.5	29.5	21.8	3.1	0.62	81.8	2.0
550	550	970	594	614	2.7	0.46	6.5	31.5	23.3	3.1	0.65	81.8	2.0
600	600	1020	644	664	2.8	0.46	6.5	33.5	24.8	3.1	0.68	81.8	2.0

鉄筋表(10m 当り)	
長さ	本数
3.90 m	8 本
4.90	2
0.44	80
0.30	20

現場打側溝工 (400 床版)



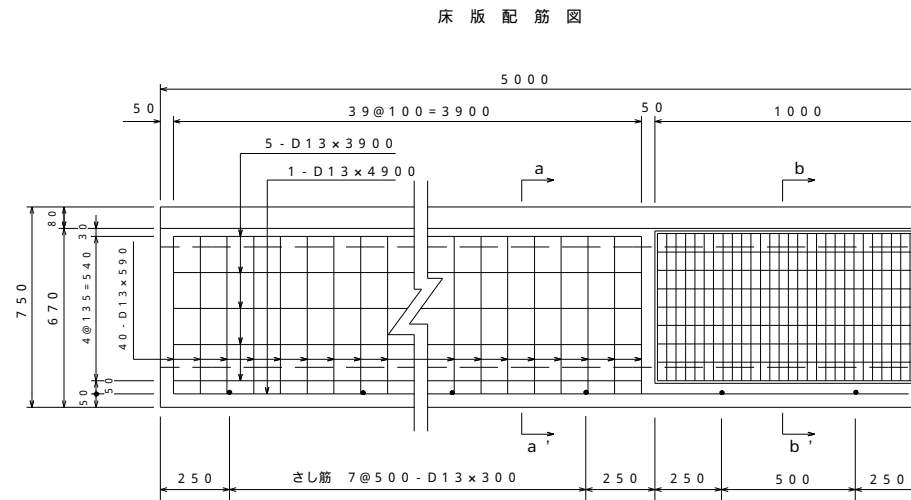
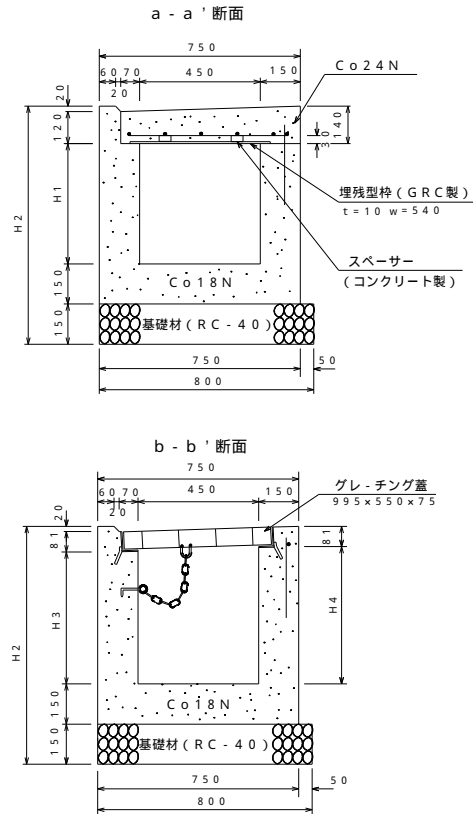
注意事項

1. グレーチング蓋は耐荷重 T-2.5 を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレーチング蓋はノンスリップ加工を標準とし、横部材の間隔が 50 mm のものを使用する。
3. グレーチング蓋は受枠付きを使用し、道路管理者の指示によってはボルト固定、鎖付きアンカー（フック付アンカー）固定、細目・手掛付きなどを使用するものとする。
4. グレーチング蓋の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

規格	寸法表 (単位 mm)				材 料 表 (10m当り)									
	H1	H2	H3	H4	Co18N	Co24N	基礎材	両側型枠	片側型枠	埋残型枠	目地材	鉄筋D13	G蓋	
400 x 400	400	830	439	459	2.4 m ³	0.59 m ³	7.5 m ²	26.6 m ²	19.3 m ²	3.9 m ²	0.63 m ²	98.3 kg	2.0 組	
450	450	880	489	509	2.5	0.59	7.5	28.6	21.3	3.9	0.66	98.3	2.0	
500	500	930	539	559	2.7	0.59	7.5	30.6	22.8	3.9	0.69	98.3	2.0	
550	550	980	589	609	2.8	0.59	7.5	32.6	24.3	3.9	0.72	98.3	2.0	
600	600	1030	639	659	3.0	0.59	7.5	34.6	25.8	3.9	0.75	98.3	2.0	

鉄筋表(10m当り)	
長さ	本数
3.90 m	10 本
4.90	2
0.55	80
0.30	20

現場打側溝工 (4 5 0 床版)



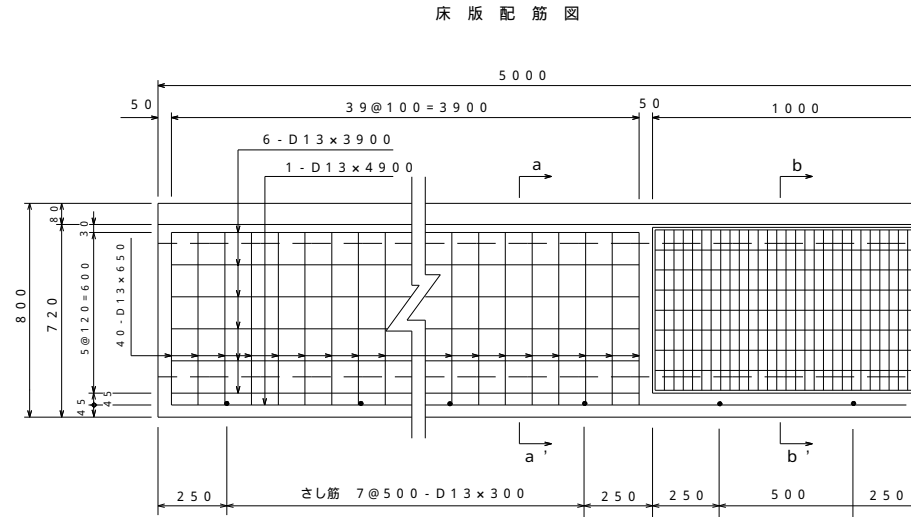
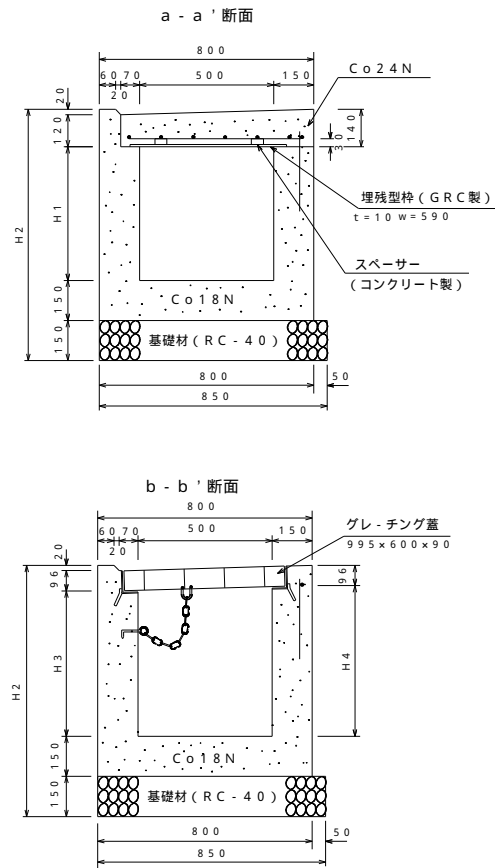
注意事項

1. グレーチング蓋は耐荷重T-25を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレーチング蓋はノンスリップ加工を標準とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
3. グレーチング蓋は受枠付きを使用し、道路管理者の指示によってはボルト固定、鎖付きアンカー(フック付アンカー)固定、細目・手掛付きなどを使用するものとする。
4. グレーチング蓋の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

規格	寸法表 (単位 mm)				材 料 表 (10m当り)								
	H 1	H 2	H 3	H 4	Co 18N	Co 24N	基礎材	両側型枠	片側型枠	埋残型枠	目地材	鉄筋D13	G蓋
450 x 450	450	890	489	509	2.6 m ³	0.70 m ³	8.0 m ²	29.3 m ²	21.9 m ²	4.3 m ²	0.71 m ²	101.5 kg	2.0 組
500	500	940	539	559	2.8	0.70	8.0	31.3	23.4	4.3	0.74	101.5	2.0
550	550	990	589	609	2.9	0.70	8.0	33.3	24.9	4.3	0.77	101.5	2.0
600	600	1040	639	659	3.0	0.70	8.0	35.3	26.4	4.3	0.80	101.5	2.0

鉄筋表(10m当り)	
長さ	本数
3.90 m	10 本
4.90	2
0.59	80
0.30	20

現場打側溝工 (500 床版)



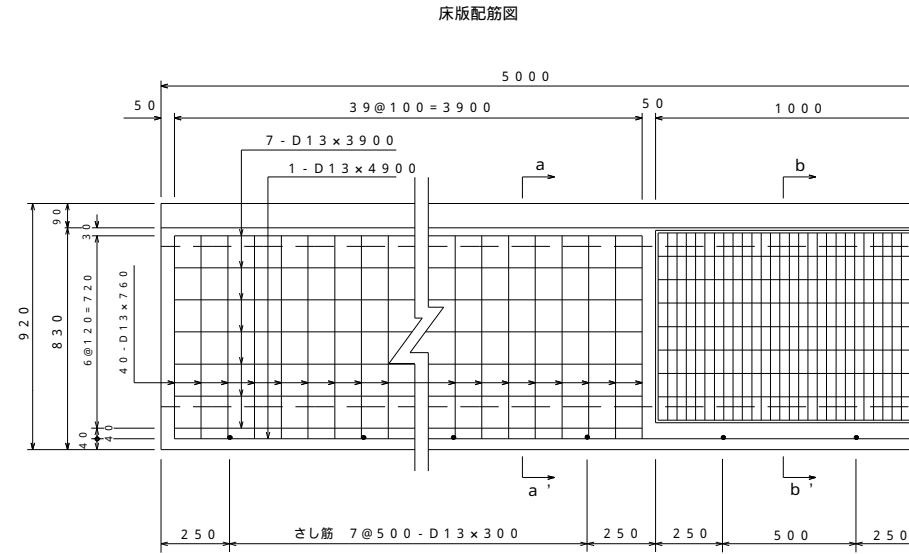
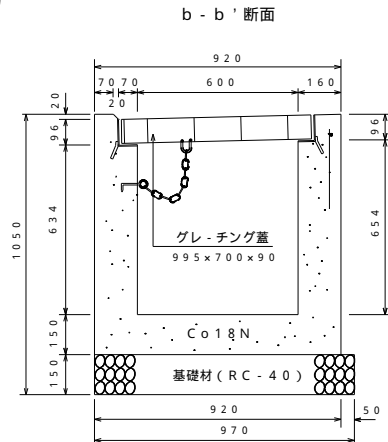
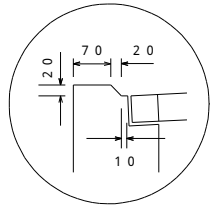
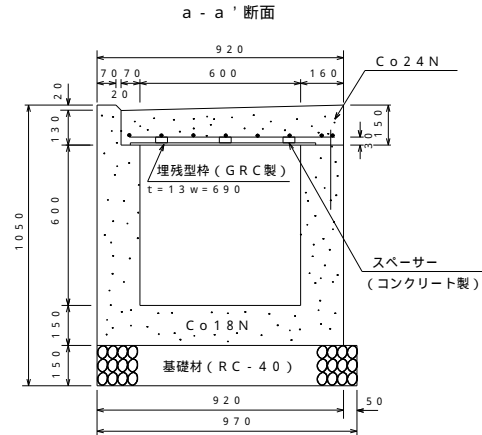
注意事項

1. グレ・チング蓋は耐荷重 T-25 を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレ・チング蓋はノンスリップ加工を標準とし、横部材の間隔が 50 mm のものを使用する。
3. グレ・チング蓋は受枠付きを使用し、道路管理者の指示によってはボルト固定、鎖付きアンカー（フック付アンカー）固定、細目・手掛付きなどを使用するものとする。
4. グレ・チング蓋の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

規格	寸法表 (単位 mm)				材料表 (10m当り)								
	H1	H2	H3	H4	Co18N	Co24N	基礎材	両側型枠	片側型枠	埋残型枠	目地材	鉄筋D13	G蓋
500 x 500	500	940	524	545	2.9 m ³	0.75 m ³	8.5 m ²	31.8 m ²	23.9 m ²	4.7 m ²	0.76 m ²	114.0 kg	2.0 組
x 550	550	990	574	594	3.0	0.75	8.5	33.8	25.4	4.7	0.79	114.0	2.0
x 600	600	1040	624	645	3.2	0.75	8.5	35.8	26.9	4.7	0.82	114.0	2.0

鉄筋表(10m当り)	
長さ	本数
3.90 m	12 本
4.90	2
0.65	80
0.30	20

現場打側溝工 (600 床版)



注意事項

1. グレーチング蓋は耐荷重 T-25 を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレーチング蓋はノンスリップ加工を標準とし、横部材の間隔が 50mm のものを使用する。
3. グレーチング蓋は受枠付きを使用し、道路管理者の指示によってはボルト固定、鎖付きアンカー（フック付アンカー）固定、細目・手掛付きなどを使用するものとする。
4. グレーチング蓋の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

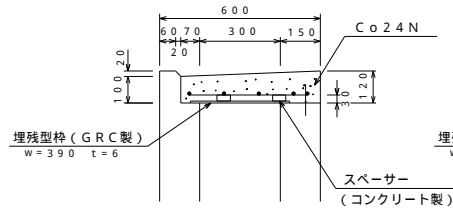
規 格	材 料 表 (10m 当り)								
	Co18N	Co24N	基礎材	両側型枠	片側型枠	埋残型枠	目 地 材	鉄筋 D13	G 蓋
600 x 600	3.3 m ³	0.93 m ³	9.7 m ²	37.0 m ²	28.0 m ²	5.5 m ²	0.94 m ²	130.54 Kg	2.0 組

鉄筋表(10m 当り)	
長さ	本数
3.90 m	14 本
4.90	2
0.76	80
0.30	20

現場打床版工（300側溝蓋補修）

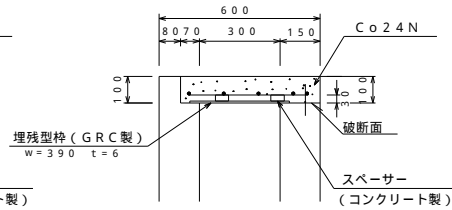
タイプ1
(天端：斜)

a - a' 断面

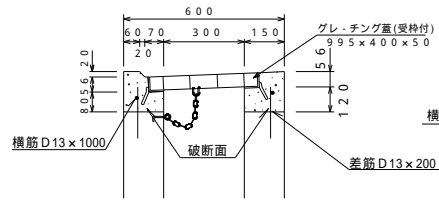


タイプ2
(天端：平)

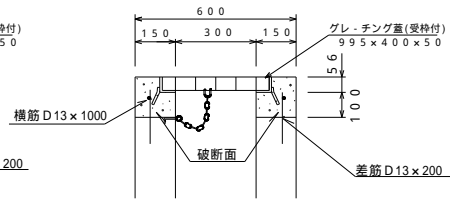
a - a' 断面



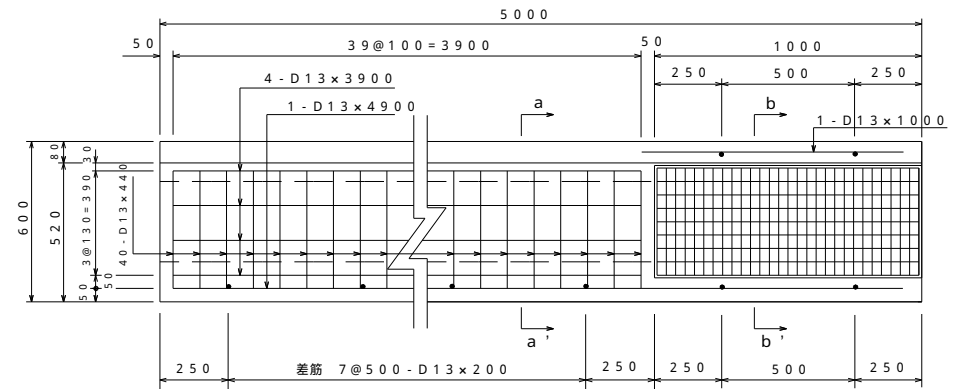
b - b' 断面



b - b' 断面

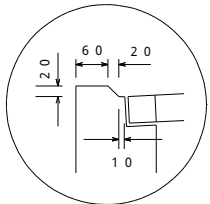


床版配筋図



注意事項

1. グレ・チング蓋は耐荷重 T-25 を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレ・チング蓋はノンスリップ加工を標準とし、横部材の間隔が 50 mm のものを使用する。
3. グレ・チング蓋は受枠付きを使用し、道路管理者の指示によってはボルト固定、鎖付きアンカー（フック付アンカー）固定、細目・手掛付きなどを使用するものとする。
4. グレ・チング蓋の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

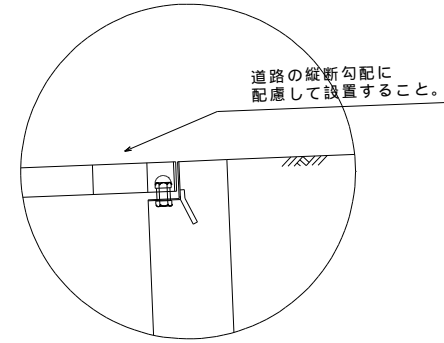
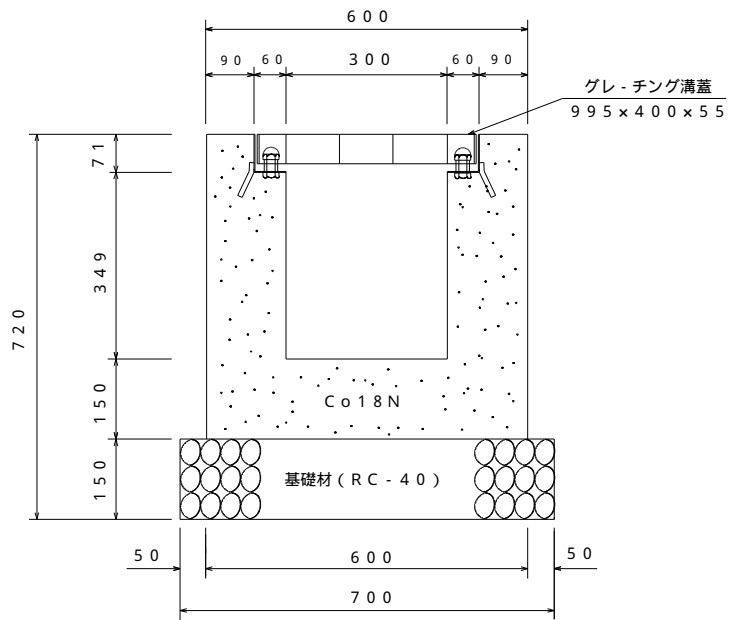


形式	Co 24 N	型枠	削孔	埋残型枠	目地材	鉄筋 D13	G蓋
タイプ1 天端：斜	0.51 m ³	1.83 m ²	22箇所	3.12 m ²	0.06 m ²	82.2 kg	2.0組
タイプ2 天端：平	0.46 m ³	1.62 m ²	22箇所	3.12 m ²	0.05 m ²	82.2 kg	2.0組

長さ	本数
3.90 m	8本
4.90	2
1.00	2
0.44	80
0.20	22

横断側溝工 (300×300) G蓋固定

断面図



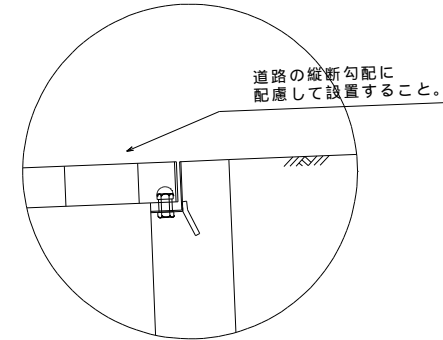
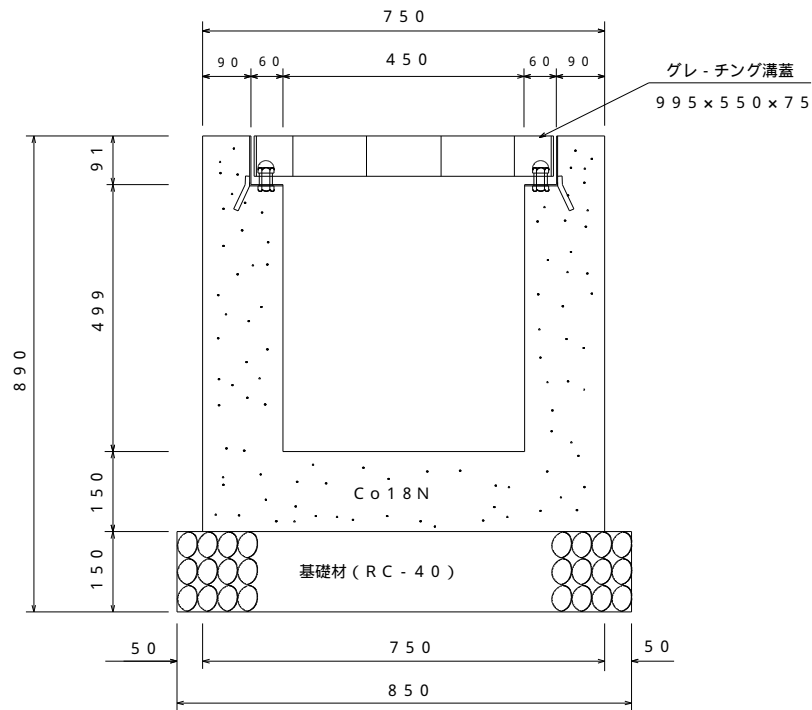
注意事項

1. グレ-チング溝蓋は、受枠付きボルト固定式、耐荷重T-25、ノンスリップ加工を標準とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
2. グレ-チング溝蓋は、道路管理者の指示によっては、細目を使用する。
3. グレ-チング蓋の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

規格	材 料 表 (10m当り)			
	C018N	基礎材	型 枠	G 溝 蓋
300 × 300	2.1 m ³	7.0 m ²	21.4 m ²	10.0 組

横断側溝工 (450 × 450) G蓋固定

断面図

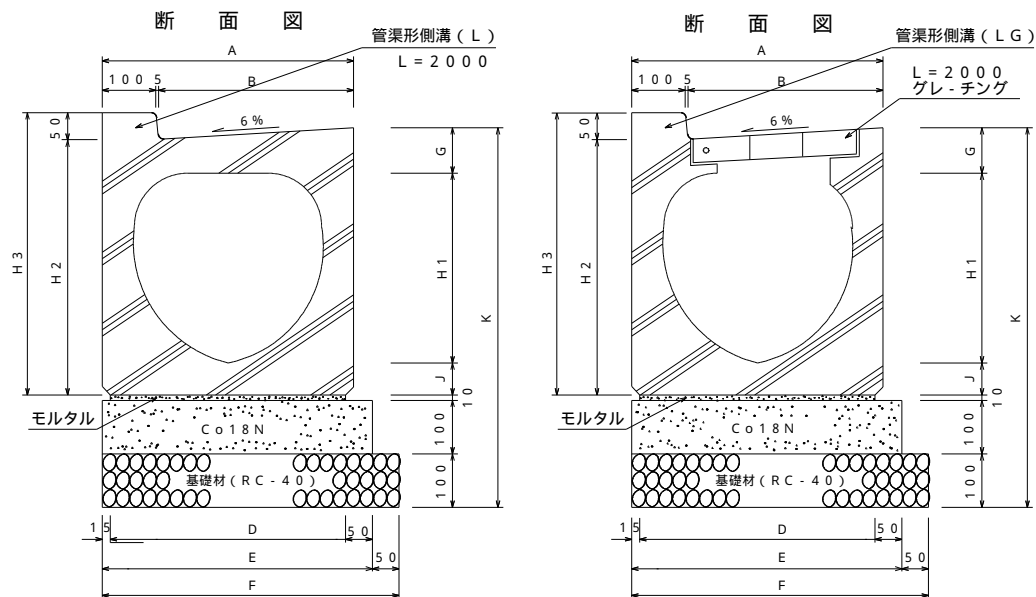


注意事項

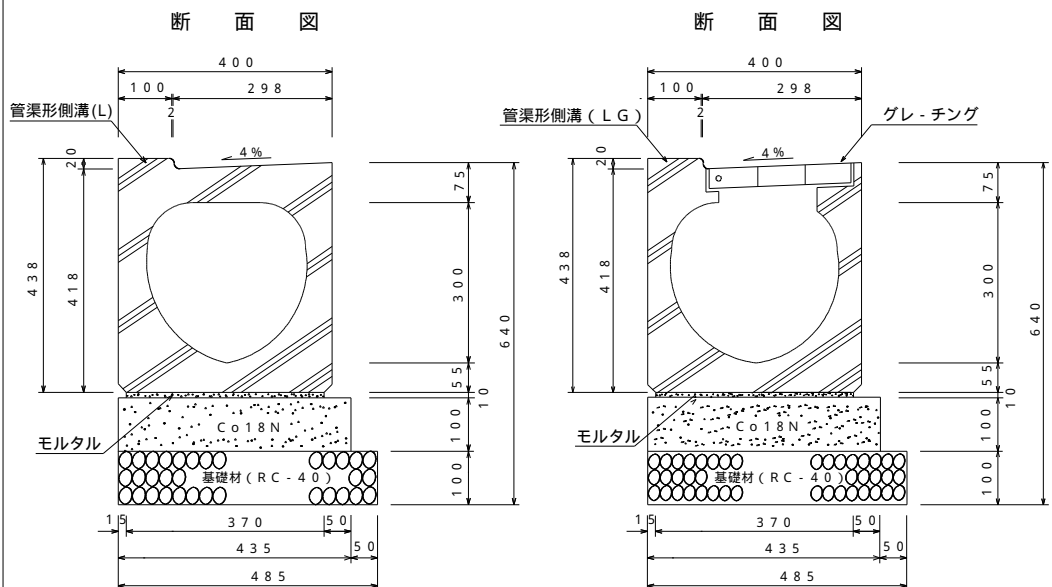
1. グレーチング溝蓋は、受枠付きボルト固定式、耐荷重T-25、ノンスリップ加工を標準とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
2. グレーチング溝蓋は、道路管理者の指示によっては、細目を使用する。
3. グレーチング蓋の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

規格	材 料 表 (10m当り)			
	Co18N	基礎材	型 枠	G 溝 蓋
450 × 450	2.8 m ³	8.5 m ²	27.8 m ²	10.0 組

アゴ高 50mm



アゴ高 20mm



プレキャスト管渠形側溝工 (縁石一体型側溝)

アゴ高 50mm

規格	寸法表 (単位mm)										
	A	B	D	E	F	G	H1	H2	H3	J	K
300(L・LG)	400	295	370	435	485	75	300	412	462	55	640
350(L・LG)	470	365	440	505	555	85	355	478	528	60	710
400(L・LG)	520	415	490	555	605	90	400	525	575	60	760

規格	材料表 (10m当り)					参考重量 kg/2m	
	コンクリ-ト	基礎材	型 枠	モルタル	管渠形側溝	L	L G
300(L・LG)	0.44 m ³	4.9 m ²	2.0 m ²	0.04 m ³	5.0 個	485 Kg	458 Kg
350(L・LG)	0.51	5.6	2.0	0.04	5.0	631	598
400(L・LG)	0.56	6.1	2.0	0.05	5.0	745	702

アゴ高 20mm

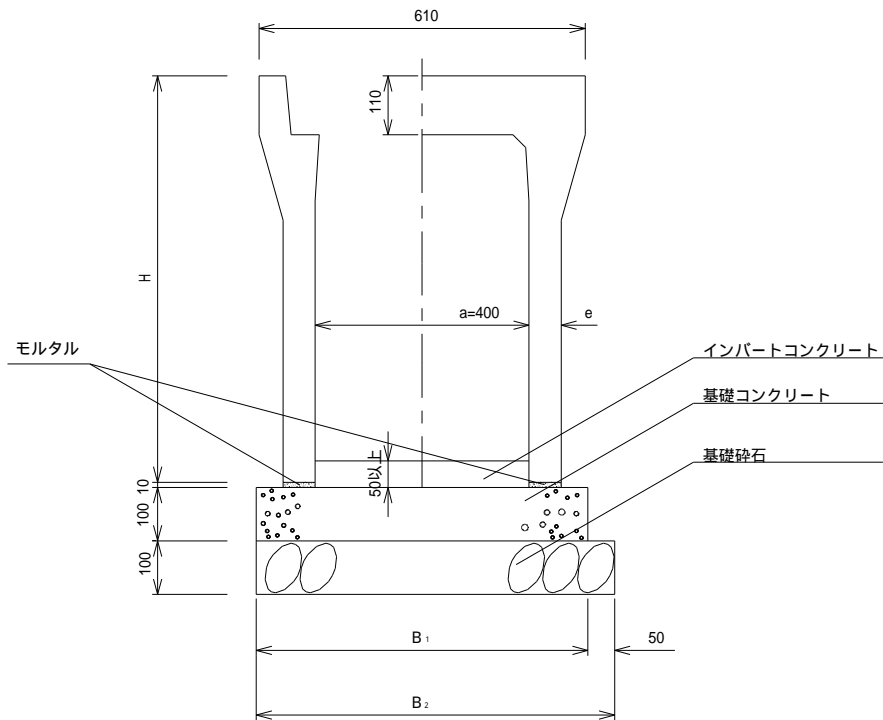
規格	材料表 (10m当り)					参考重量 kg/2m	
	コンクリ-ト	基礎材	型 枠	モルタル	管渠形側溝	L	LG
300(L・LG)	0.44 m ³	4.9 m ²	2.0 m ²	0.04 m ³	5.0 個	471 Kg	444 Kg

注意事項

- 流水断面は卵形・矩形・円形いずれの形状も使用可能とする。
- 管渠形側溝本体は縁石一体型とし、乗り上げ段差50mmを標準とする。また、耐荷重はT-2.5を標準とする。
- グレーチング蓋はノンスリップ加工の開閉式もしくは固定式とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
- 部材接合部は、ゴムパッキン・シール材などで止水処置をする。
- 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。
- グレーチング蓋は、設計荷重T-2.5としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
- この構造を使用しない場合は、道路管理者と協議して決定する。
- 設置箇所の付近に既存で設置されている場合は、この構造を用いる。

自由勾配側溝 (400用)

400 × 400 ~ 1200 標準断面図



寸法表及び材料表

(10m当り)

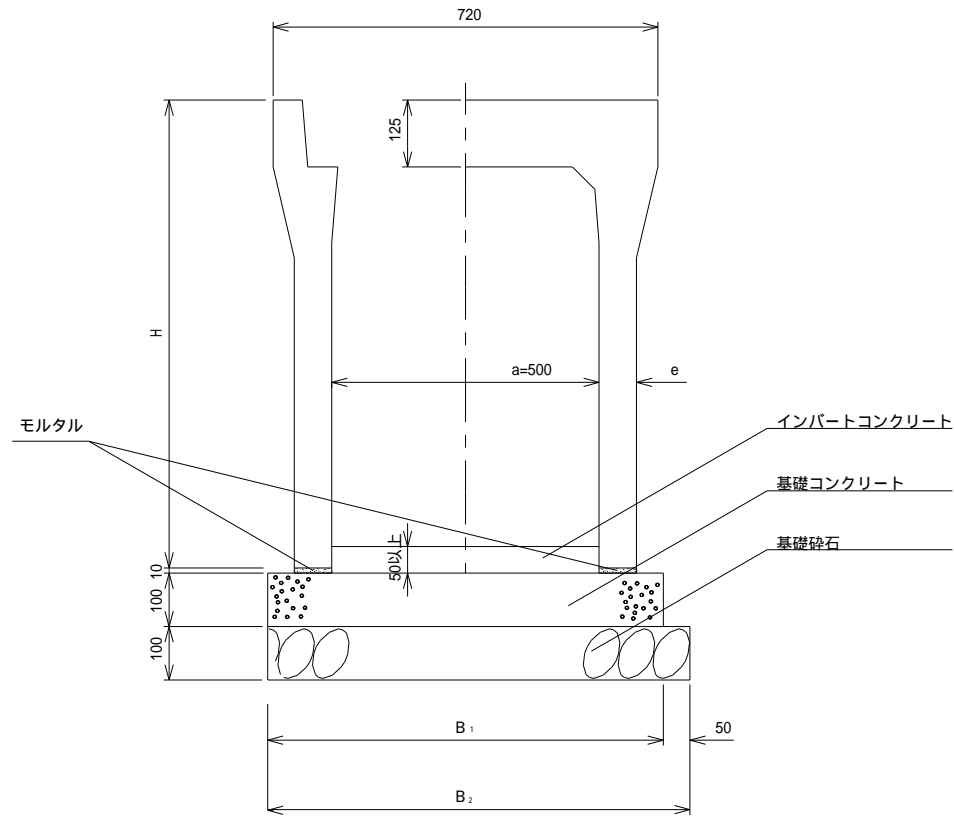
内空高 (mm)	寸法 (mm)				基礎砕石 (RC-40) (m ³)	コンクリート 18N (m ³)	型枠 (m ²)	製品 (本)
	B ₁	B ₂	H	e				
400	610	660	560	55	0.660	0.610	2.000	5.0
500	640	690	660	70	0.690	0.640		
600			760					
700			860					
800			960					
900	680	730	1060	90	0.730	0.680		
1000			1160					
1100			1260					
1200			1360					

注意事項

1. 製品本体及び側溝蓋、グレーチング蓋は、耐荷重 T - 25 を標準とする。
2. 基礎杭を設置する場合には、基礎コンクリート厚を 15 cm とする。
3. 開口部は現場打ちコンクリートを標準とする。別図 - 22 - 自由勾配側溝蓋(現場打)を参照とする。
4. グレーチング蓋はノンスリップ加工とし、横部材の間隔が 50 mm のものを使用する。
5. グレーチング蓋設置の間隔は 5 m を標準とする。
6. インパートコンクリートは 50 mm 以上とする。
7. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

自由勾配側溝 (500用)

500 × 400 ~ 1400 標準断面図



寸法表及び材料表

(10m当り)

内空高 (mm)	寸法 (mm)				基礎砕石 (RC-40) (m ³)	コンクリート 18N (m ³)	型枠 (m ²)	製品 (本)
	B ₁	B ₂	H	e				
400	740	790	575	70	0.790	0.740	2.000	5.0
500			675					
600			775					
700			875					
800			975					
900	770	820	1075	85	0.820	0.770	2.000	5.0
1000			1175					
1100			1275					
1200	790	840	1375	95	0.840	0.790	2.000	5.0
1300			1475					
1400			1575					

注意事項

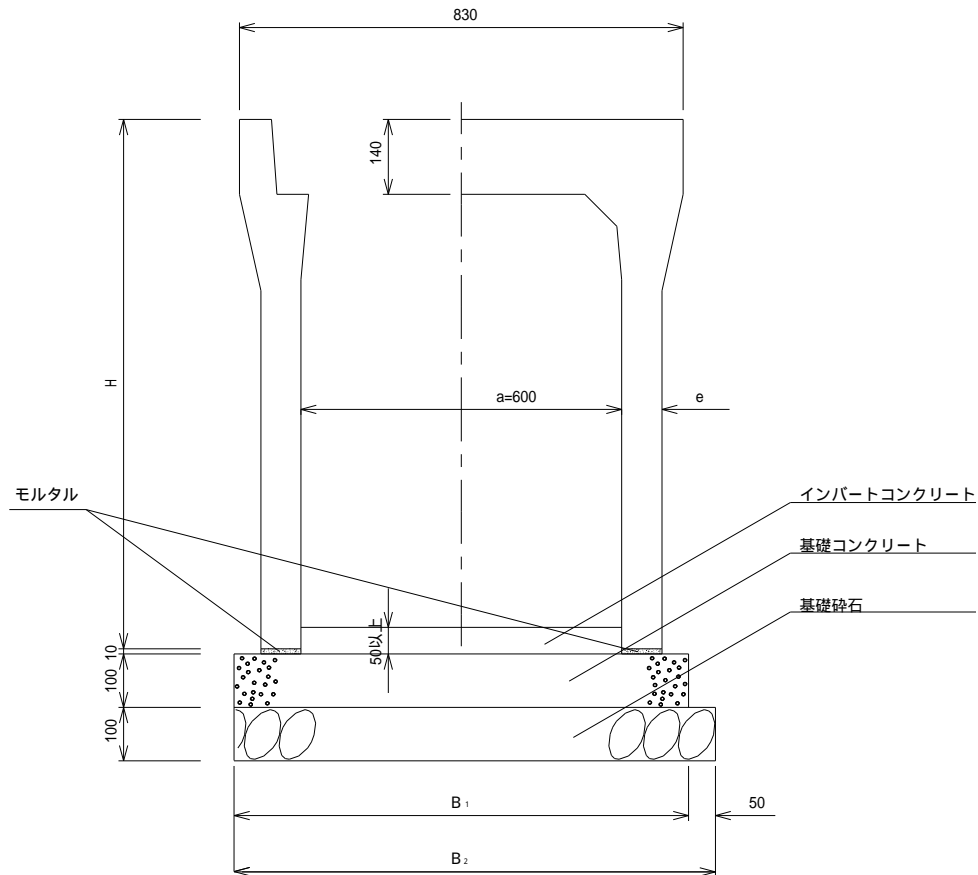
1. 製品本体及び側溝蓋、グレーチング蓋は、耐荷重 T - 25 を標準とする。
2. 基礎杭を設置する場合には、基礎コンクリート厚を 1.5cm とする。
3. 開口部は現場打ちコンクリートを標準とする。別図 - 2.2 - 自由勾配側溝蓋 (現場打) を参照とする。
4. グレーチング蓋はノンスリップ加工とし、横部材の間隔が 50mm のものを使用する。
5. グレーチング蓋設置の間隔は 5m を標準とする。
6. インバートコンクリートは 50mm 以上とする。
7. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

自由勾配側溝 (600用)

600×400～1500 標準断面図

寸法表及び材料表

(10m当り)



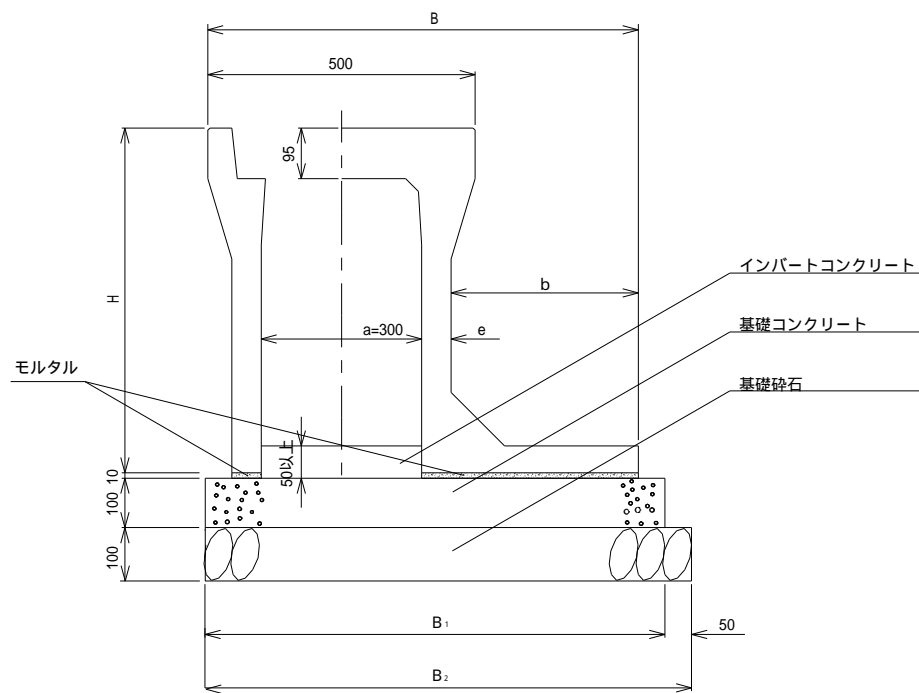
内空高 (mm)	寸法 (mm)				基礎砕石 RC-40 (m^2)	コンクリート 18N (m^2)	型枠 (m^2)	製品 (本)
	B ₁	B ₂	H	e				
400	850	900	590	75	0.900	0.850	2.000	5.0
500			690					
600			790					
700			890					
800			990					
900			1090					
1000	900	950	1190	100	0.950	0.900	2.000	5.0
1100			1290					
1200			1390					
1300			1490					
1400			1590					
1500			1690					

注意事項

1. 製品本体及び側溝蓋、グレーチング蓋は、耐荷重T-25を標準とする。
2. 基礎杭を設置する場合には、基礎コンクリート厚を15cmとする。
3. 開口部は現場打ちコンクリートを標準とする。別図-22-自由勾配側溝蓋(現場打)を参照とする。
4. グレーチング蓋はノンスリップ加工とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
5. グレーチング蓋設置の間隔は5mを標準とする。
6. インバートコンクリートは50mm以上とする。
7. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

自由勾配側溝 (300用・土留タイプ)

300×300～1100 標準断面図



寸法表及び材料表

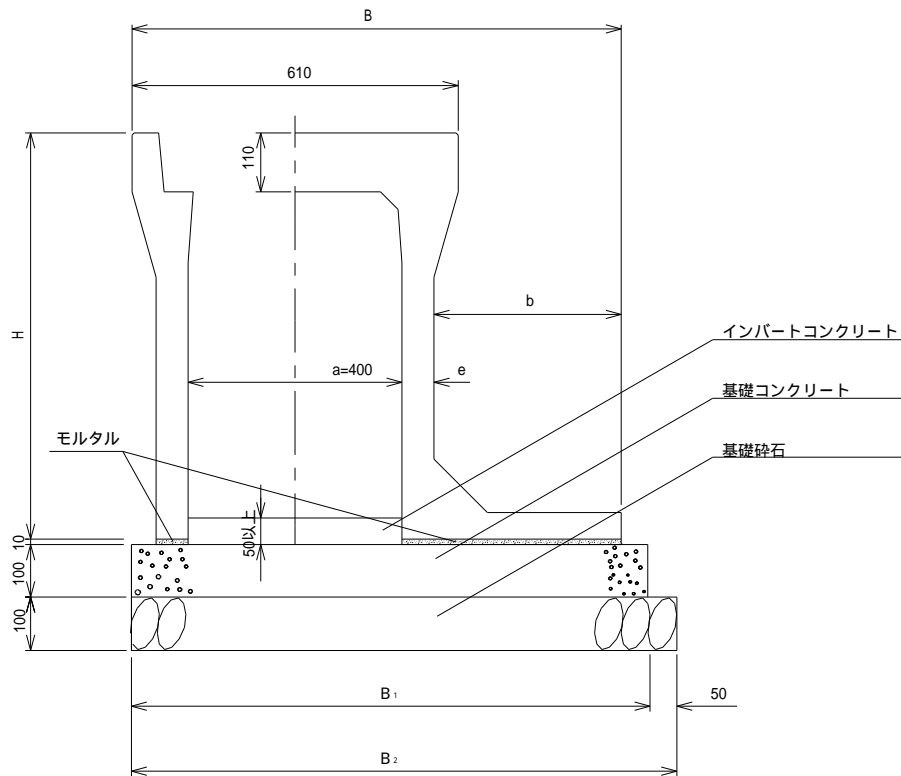
内空高 (mm)	寸法 (mm)						基礎砕石 (RC-40) (m ³)	コンクリート 18N (m ³)	型 枠 (m ²)	製 品 (本)
	B	b	B ₁	B ₂	H	e				
300	700	250	750	800	445	50	0.800	0.750	2.000	5.0
400	755	300	810	860	545	55	0.860	0.810		
500	805	350	860	910	645	60	0.910	0.860		
600	815	400	880	930	745	65	0.930	0.880		
700	865	450	930	980	845	70	0.980	0.930		
800	925	500	1000	1050	945	75	1.050	1.000		
900	975	550	1070	1120	1045	80	1.120	1.070		
1000	1035	600	1120	1170	1145	85	1.170	1.120		
1100	1095	650	1170	1220	1245	90	1.240	1.190		

注 意 事 項

1. 製品本体及び側溝蓋、グレーチング蓋は、耐荷重T-2.5を標準とする。
2. 基礎杭を設置する場合には、基礎コンクリート厚を15cmとする。
3. 開口部は現場打ちコンクリートを標準とする。別図-2.2-自由勾配側溝蓋(現場打)を参照とする。
4. グレーチング蓋はノンスリップ加工とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
5. グレーチング蓋設置の間隔は5mを標準とする。
6. インバートコンクリートは50mm以上とする。
7. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

自由勾配側溝 (400用・土留タイプ)

400×400～1200 標準断面図



寸法表及び材料表

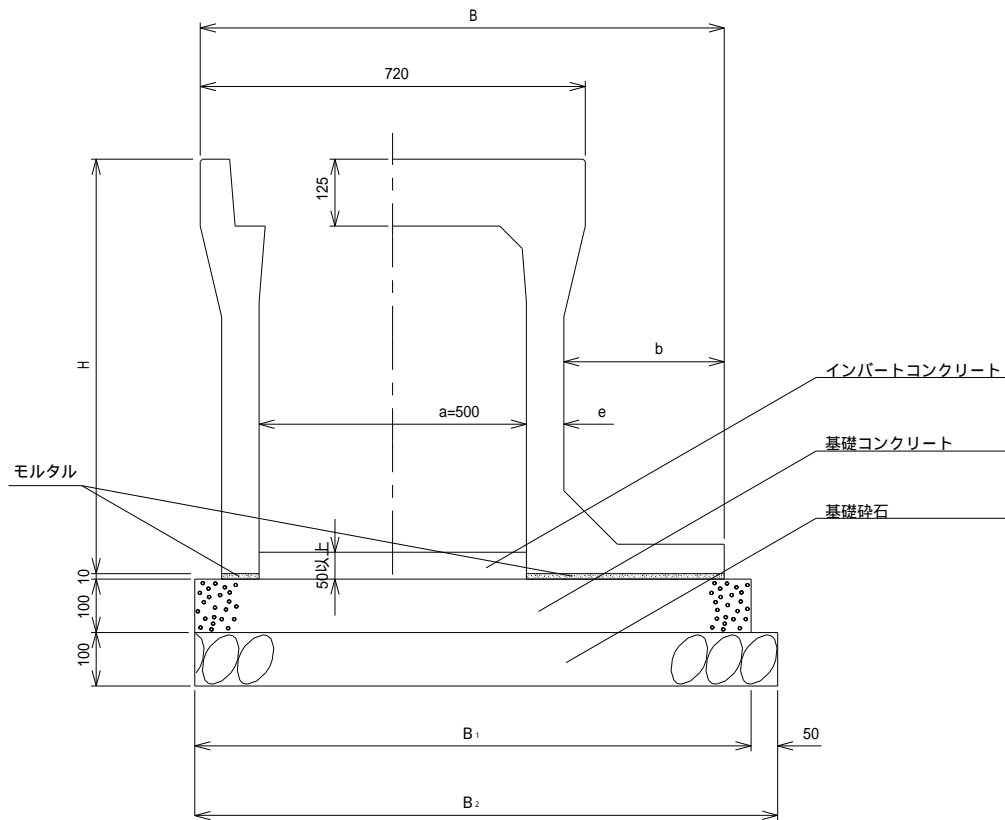
内空高 (mm)	寸 法 (mm)						基礎砕石 (RC-40) (m^3)	コンクリート 18N (m^3)	型 枠 (m^2)	製 品 (本)
	B	b	B ₁	B ₂	H	e				
400	810	250	860	910	560	55	0.910	0.860	2.000	5.0
500	875	300	940	990	660	70	0.990	0.940		
600	925	350	990	1040	760		1.040	0.990		
700	975	400	1040	1090	860		1.090	1.040		
800	1025	450	1090	1140	960	90	1.140	1.090		
900	1045		1130	1180	1060		1.180	1.130		
1000	1095	500	1180	1230	1160		1.230	1.180		
1100					1260					
1200	1145	550	1230	1280	1360	1.280	1.230			

注 意 事 項

1. 製品本体及び側溝蓋、グレーチング蓋は、耐荷重T-25を標準とする。
2. 基礎杭を設置する場合には、基礎コンクリート厚を15cmとする。
3. 開口部は現場打ちコンクリートを標準とする。別図-22-自由勾配側溝蓋(現場打)を参照とする。
4. グレーチング蓋はノンスリップ加工とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
5. グレーチング蓋設置の間隔は5mを標準とする。
6. インバートコンクリートは50mm以上とする。
7. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

自由勾配側溝 (500用・土留タイプ)

500×400～1400 標準断面図



寸法表及び材料表

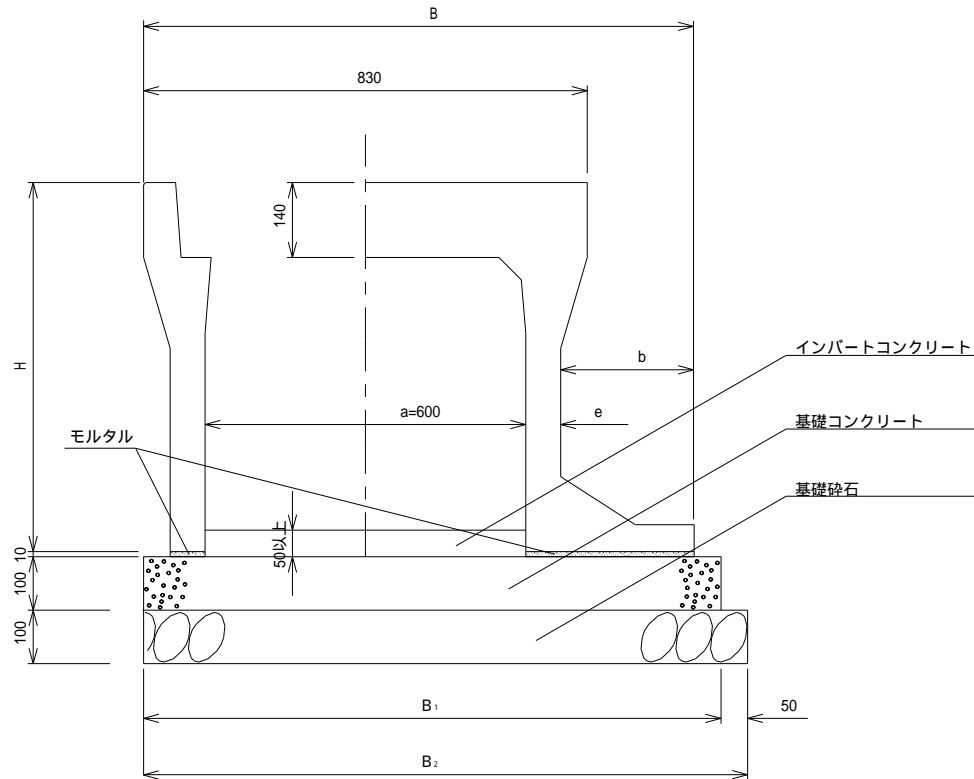
内空高 (mm)	寸 法 (mm)						基礎砕石 (RC-40) (m ³)	コンクリート 18N (m ³)	型 枠 (m ²)	製 品 (本)
	B	b	B ₁	B ₂	H	e				
400	930	250	990	1040	575	70	1.040	0.990	2.000	5.0
500	980	300	1040	1090	675		1.090	1.040		
600					775					
700	1030	350	1090	1140	875	1.140	1.090			
800	1080	400	1140	1190	975	1.190	1.140			
900	1145	450	1220	1270	1075	85	1.270	1.220		
1000	1195	500	1270	1320	1175		1.320	1.270		
1100	1245	550	1320	1370	1275		1.370	1.320		
1200	1255		1340	1390	1375	1.390	1.340			
1300	1305	600	1390	1440	1475	95	1.440	1.390		
1400	1355	650	1440	1490	1575		1.490	1.440		

注 意 事 項

1. 製品本体及び側溝蓋、グレーチング蓋は、耐荷重T-25を標準とする。
2. 基礎杭を設置する場合には、基礎コンクリート厚を15cmとする。
3. 開口部は現場打ちコンクリートを標準とする。別図-22-自由勾配側溝蓋(現場打)を参照とする。
4. グレーチング蓋はノンスリップ加工とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
5. グレーチング蓋設置の間隔は5mを標準とする。
6. インバートコンクリートは50mm以上とする。
7. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

自由勾配側溝 (600用・土留タイプ)

600×400～1500 標準断面図



寸法表及び材料表

(10m当り)

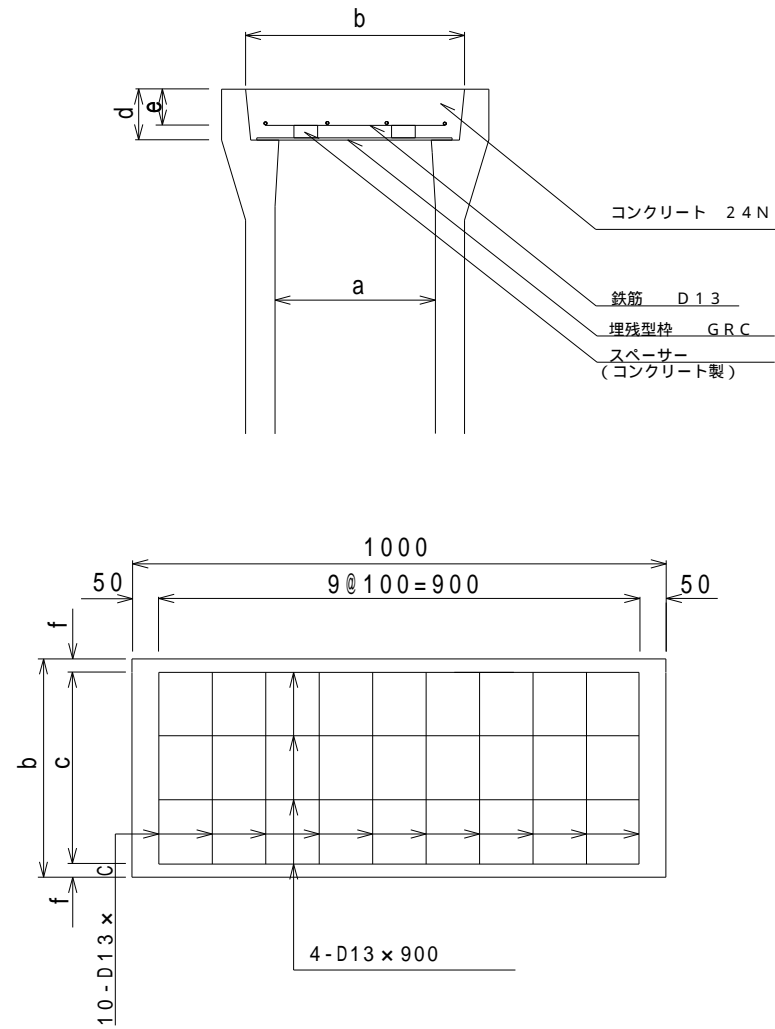
内空高 (mm)	寸法 (mm)						基礎砕石 (RC-40) (m ³)	コンクリート 18N (m ³)	型枠 (m ²)	製品 (本)
	B	b	B ₁	B ₂	H	e				
400	1040	250	1100	1150	590	75	1.150	1.100	2.000	5.0
500					690					
600	1090	300	1150	1200	790		1.200	1.150		
700	1140	350	1200	1250	890		1.250	1.200		
800	1190	400	1250	1300	990		1.300	1.250		
900	1240	450	1300	1350	1090		1.350	1.300		
1000	1265		1350	1400	1190		1.400	1.350		
1100	1315	500	1400	1450	1290		1.450	1.400		
1200	1365	550	1450	1500	1390		1.500	1.450		
1300	1415	600	1500	1550	1490		100	1.550		
1400					1590					
1500	1465	650	1550	1600	1690	1.600		1.550		

注意事項

1. 製品本体及び側溝蓋、グレーチング蓋は、耐荷重 T - 2.5 を標準とする。
2. 基礎杭を設置する場合には、基礎コンクリート厚を 1.5cm とする。
3. 開口部は現場打ちコンクリートを標準とする。別図 - 2.2 - 自由勾配側溝蓋(現場打)を参照とする。
4. グレーチング蓋はノンスリップ加工とし、横部材の間隔が 50mm のものを使用する。
5. グレーチング蓋設置の間隔は 5m を標準とする。
6. インバートコンクリートは 50mm 以上とする。
7. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

自由勾配側溝蓋（現場打タイプ）

300～600 標準断面図

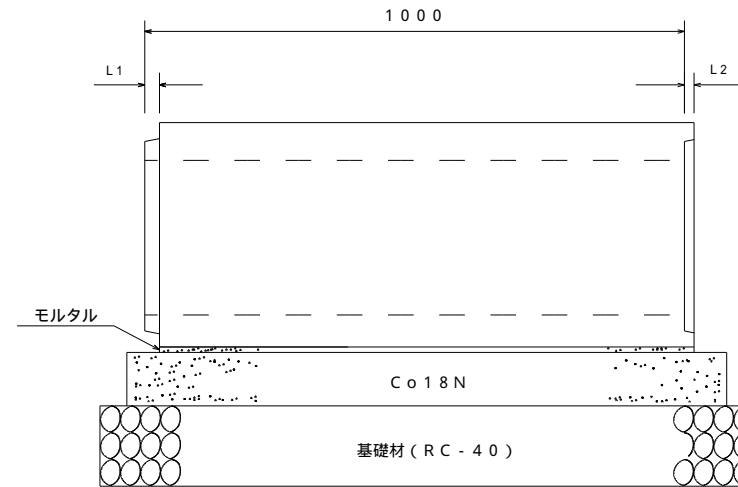
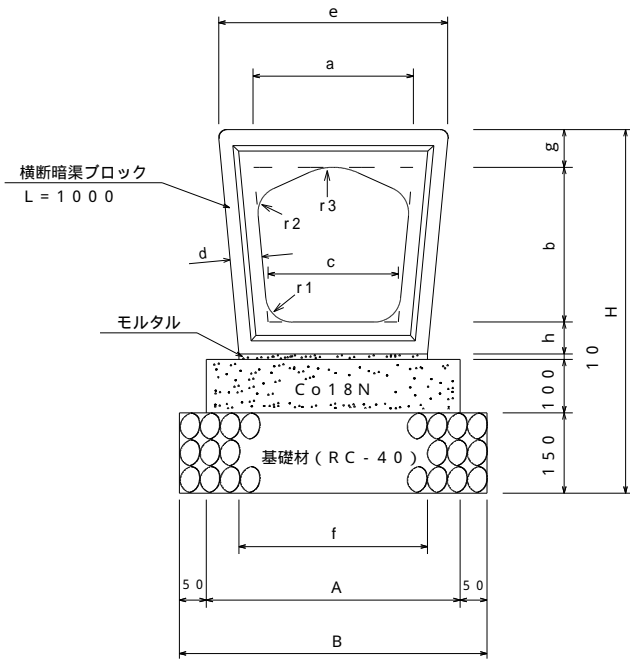


寸法表及び材料表

(1箇所当り)

呼び名	寸法 (mm)					コンクリート 24N (m^3)	鉄筋 D13 (kg)	埋残型枠 (GRC) (m^2)
	a	b	c	d	e			
300	410	360	95	65	25	0.04	7.164	0.39
400	510	450	110	80	30	0.06	8.060	0.49
500	610	540	125	95	35	0.08	10.050	0.59
600	710	630	140	110	40	0.10	11.841	0.69

プレキャスト横断暗渠工



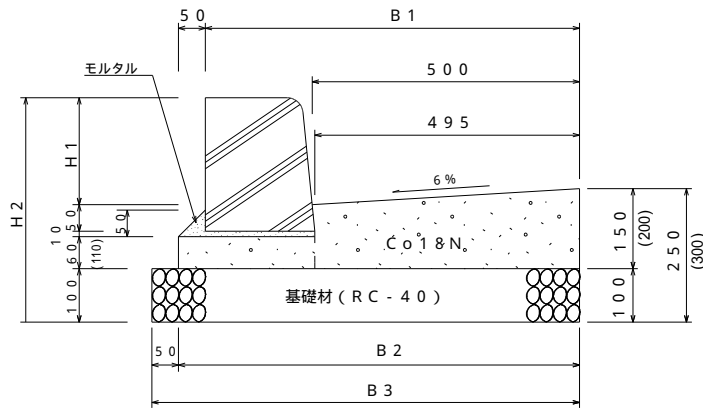
注意事項

1. 横断暗渠ブロックは、耐荷重 T-2.5 を原則とする。
2. 製品の使用については、事前に承認を受けるものとする。

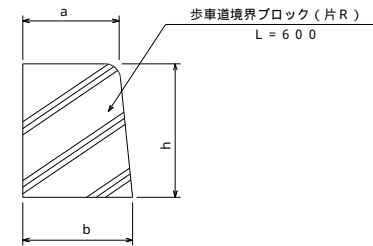
規格	寸法表 (単位mm)																材料表 (10m当り)					参考重量 L=1000	
	a	b	c	d	e	f	g	h	A	B	H	L1	L2	L	r1	r2	r3	コンクリート	基礎材	型枠	モルタル		暗渠ブロック
240	240	240	220	45	335	306	60	50	410	510	610	17	10	1000	50	50	90	0.41 m ³	5.1 m ²	2.0 m ²	0.03 m ³	10 本	155 kg
300	300	300	260	60	428	372	60	60	480	580	680	27	18	1000	50	50	110	0.48	5.8	2.0	0.04	10	220
360	360	360	310	60	491	421	75	65	530	630	760	27	20	1000	50	50	120	0.53	6.3	2.0	0.04	10	297
450	450	450	400	75	610	540	85	90	640	740	885	27	20	1000	70	70	130	0.64	7.4	2.0	0.05	10	450
600	600	600	540	80	773	687	130	135	790	890	1125	27	20	1000	70	70	150	0.79	8.9	2.0	0.07	10	775

L形街渠工（マウントアップ式）

断面図



寸法表



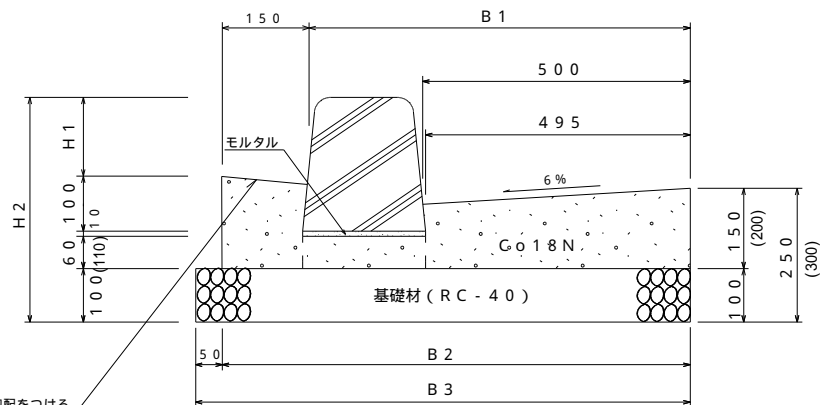
注意事項

1. 歩車道境界ブロックは、JIS A 5371 を使用する。
2. 路盤上に施工する場合は、基礎材を省略する。
3. ブロックの目地間隔は、5mmとする。
4. 歩車道境界ブロックは、Bブロックを標準とする。
5. コンクリート打設部は、1.0m毎に伸縮目地（ゴム系）を設置する。

規格	寸法表（単位 mm）									材 料 表（1.0m当り）						ブロック 参考重量
	B 1	B 2	B 3	H 1	H 2	a	b	h	コンクリート	基礎材	型 枠	目 地 材	モルタル	ブロック		
エブロン厚 150	片Rブロック（A）	665	715	765	150	370	150	170	200	0.80 m ³	7.7 m ²	2.1 m ²	0.08 m ²	0.03 m ³	16.5 本	44 kg/本
	片Rブロック（B）	700	750	800	200	420	180	205	250	0.82	8.0	2.1	0.08	0.03	16.5	66
	片Rブロック（C）	705	755	805	250	470	180	210	300	0.83	8.1	2.1	0.08	0.03	16.5	80
エブロン厚 200	片Rブロック（A）	665	715	765	150	420	150	170	200	1.2 m ³	7.7 m ²	3.1 m ²	0.12 m ²	0.03 m ³	16.5 本	44 kg/本
	片Rブロック（B）	700	750	800	200	470	180	205	250	1.2	8.0	3.1	0.12	0.03	16.5	66
	片Rブロック（C）	705	755	805	250	520	180	210	300	1.2	8.1	3.1	0.12	0.03	16.5	80

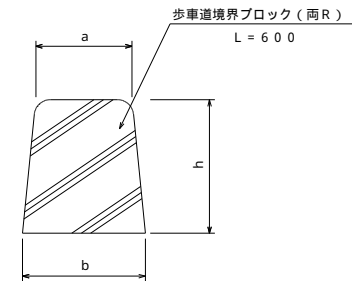
L形街渠工（セミフラット式）

断面図



天端は、2%程度の水勾配をつける

寸法図



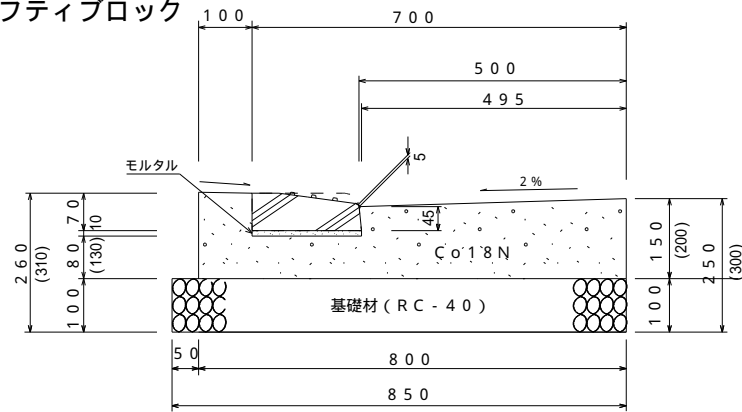
注意事項

1. 歩車道境界ブロックは、JIS A 5371 を使用する。
2. 水抜き用ブロックを、適宜配置する。
3. 路盤上に施工する場合は、基礎材を省略する。
4. ブロックの目地間隔は、5mmとする。
5. 歩車道境界ブロックは、Bブロックを標準とする。
6. ブロック背面（歩道側）のコンクリート天端は、水勾配をつける。（2%程度）
7. コンクリート打設部は、1.0m毎に伸縮目地（ゴム系）を設置する。

規格	寸法表 (単位 mm)									材料表 (1.0m当り)						ブロック参考重量
	B1	B2	B3	H1	H2	a	b	h	コンクリート	基礎材	型枠	目地材	モルタル	ブロック		
エブロン厚 150	両Rブロック(A)	680	830	880	100	370	150	190	200	1.0 m ³	8.8 m ²	3.2 m ²	0.10 m ²	0.02 m ³	16.5 本	48 本/kg
	両Rブロック(B)	720	870	920	150	420	180	230	250	1.1	9.2	3.2	0.10	0.02	16.5	71
	両Rブロック(C)	730	880	930	200	470	180	240	300	1.1	9.3	3.2	0.10	0.02	16.5	85
エブロン厚 200	両Rブロック(A)	680	830	880	100	420	150	190	200	1.5 m ³	8.8 m ²	4.2 m ²	0.14 m ²	0.02 m ³	16.5 本	48 本/kg
	両Rブロック(B)	720	870	920	150	470	180	230	250	1.5	9.2	4.2	0.14	0.02	16.5	71
	両Rブロック(C)	730	880	930	200	520	180	240	300	1.5	9.3	4.2	0.14	0.02	16.5	85

L形街渠工 セイフティブロック (歩行者横断部)切下げ用平B-7ブロック

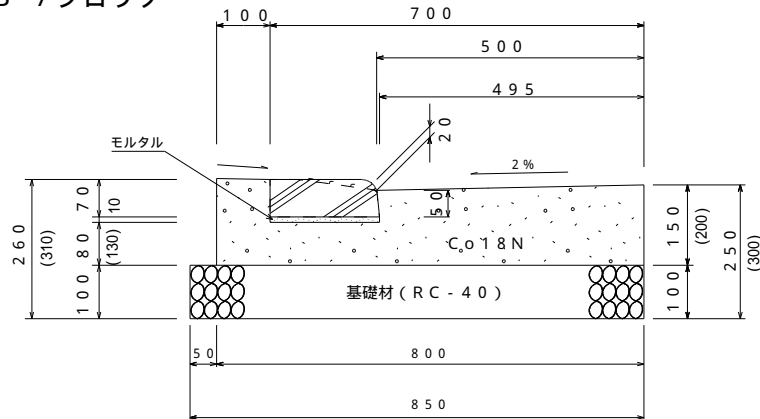
セイフティブロック



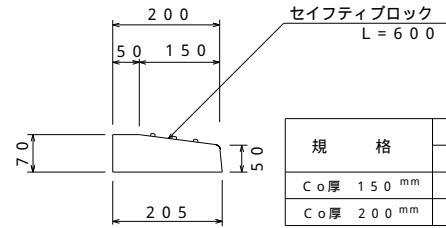
背面コンクリートの勾配は2%程度とすること。

断面図

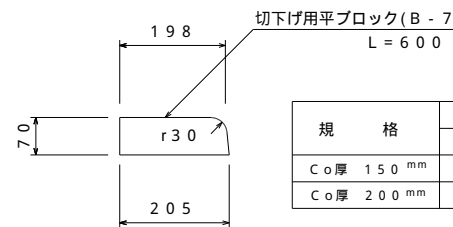
平B-7ブロック



背面コンクリートの勾配は2%程度とすること。



規格	材料表 (10m当り)					
	コンクリート	基礎材	型枠	目地材	モルタル	ブロック
C ₀ 厚 150mm	1.03 m ³	8.5 m ²	3.1 m ²	0.10 m ²	0.02 m ³	16.5 本
C ₀ 厚 200mm	1.43	8.5	4.1	0.14	0.02	16.5



規格	材料表 (10m当り)					
	コンクリート	基礎材	型枠	目地材	モルタル	ブロック
C ₀ 厚 150mm	1.04 m ³	8.5 m ²	3.1 m ²	0.10 m ²	0.02 m ³	16.5 本
C ₀ 厚 200mm	1.44	8.5	4.1	0.14	0.02	16.5

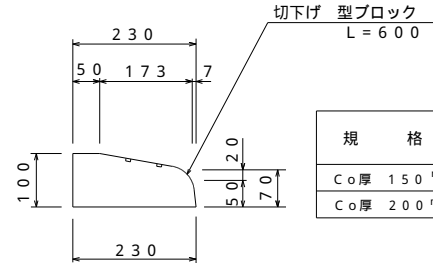
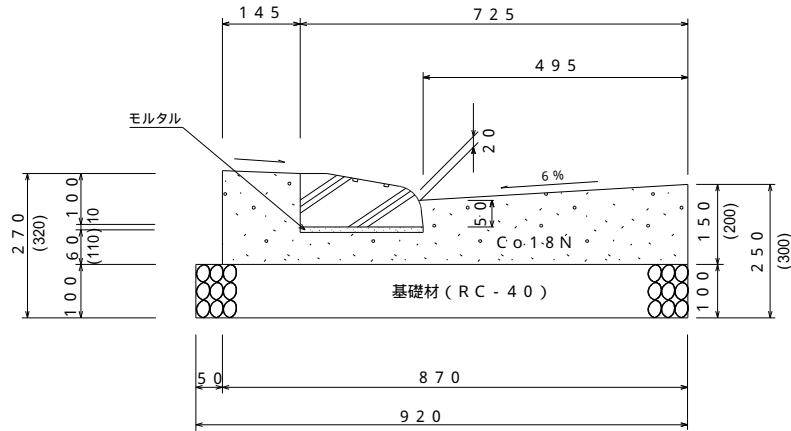
ブロック厚7cm(B-7)は歩道巻込み部に適用する。

注意事項

1. 路盤上に施工する場合は、基礎材を省略する。
2. ブロックの目地間隔は、5mmとする。
3. コンクリート打設部は、10m毎に伸縮目地(ゴム系)を設置する。
4. 交差点等の巻き込みにおいて、セイフティブロックは横断歩道の幅で設置し、平B-7ブロックはそれ以外の場合に用いる。

L形街渠工 切下げ 型ブロック (車両乗入部) 切下げ用B-10ブロック

切下げ 型

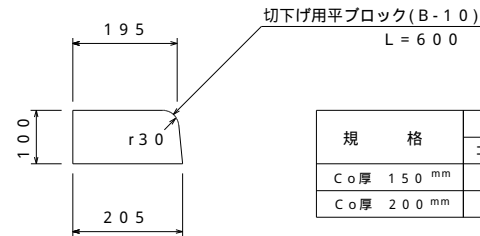
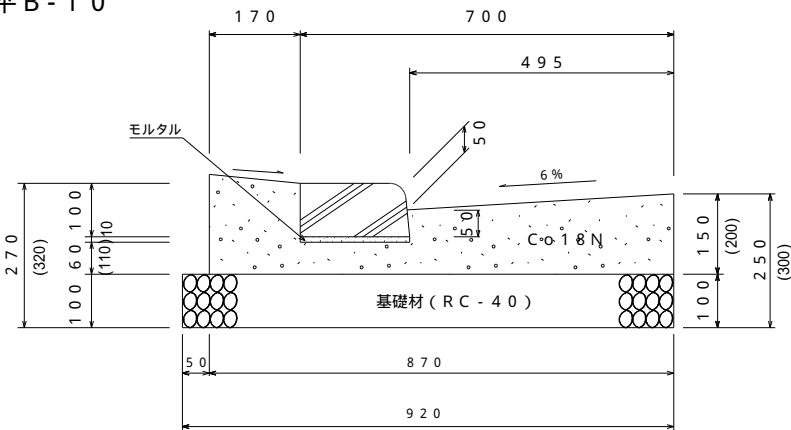


規 格	材 料 表 (10m当り)					
	コンクリ-ト	基 礎 材	型 枠	目 地 材	モルタル	ブロック
C _o 厚 150 mm	1.05 m ³	9.20 m ²	3.2 m ²	0.11 m ²	0.02 m ³	16.5 本
C _o 厚 200 mm	1.47	9.20	4.2	0.14	0.02	16.5

背面コンクリートは歩道横断勾配に配慮すること。

断 面 図

平 B-10



規 格	材 料 表 (10m当り)					
	コンクリ-ト	基 礎 材	型 枠	目 地 材	モルタル	ブロック
C _o 厚 150 mm	1.08 m ³	9.2 m ²	3.2 m ²	0.11 m ²	0.02 m ³	16.5 本
C _o 厚 200 mm	1.49	9.2	4.2	0.15	0.02	16.5

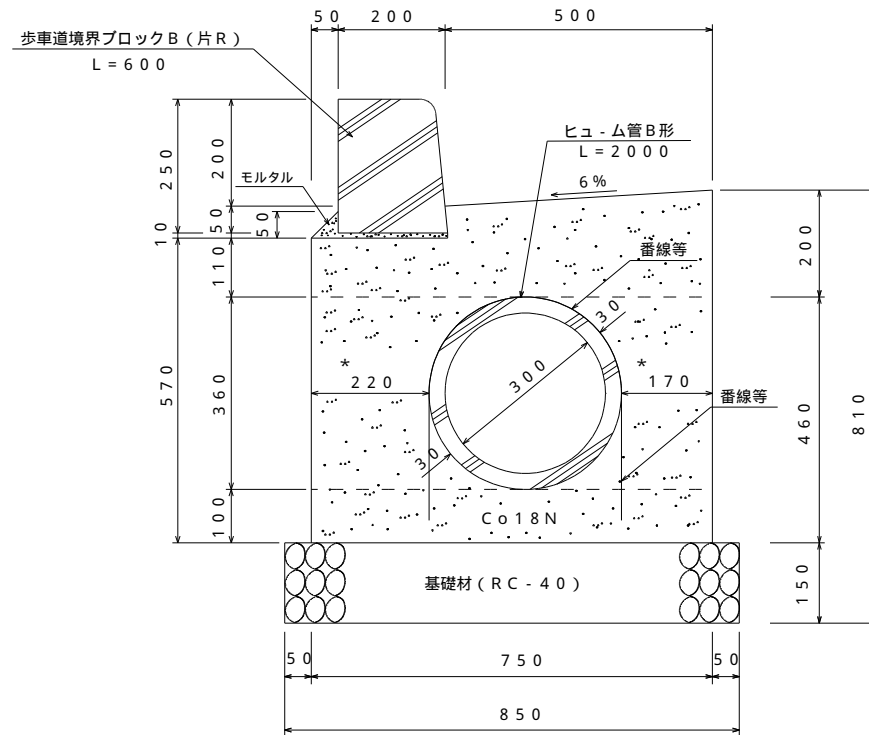
背面コンクリートは歩道横断勾配に配慮すること。

注 意 事 項

1. 切下げ 型を標準とする。ただし、既存が平B-10ブロックで一部改修を行う場合は、平B-10ブロックを使用する。
2. 路盤上に施工する場合は、基礎材を省略する。
3. ブロックの目地間隔は、5mmとする。
4. コンクリート打設部は、10m毎に伸縮目地(ゴム系)を設置する。

L形管渠工（マウントアップ式）

断面図

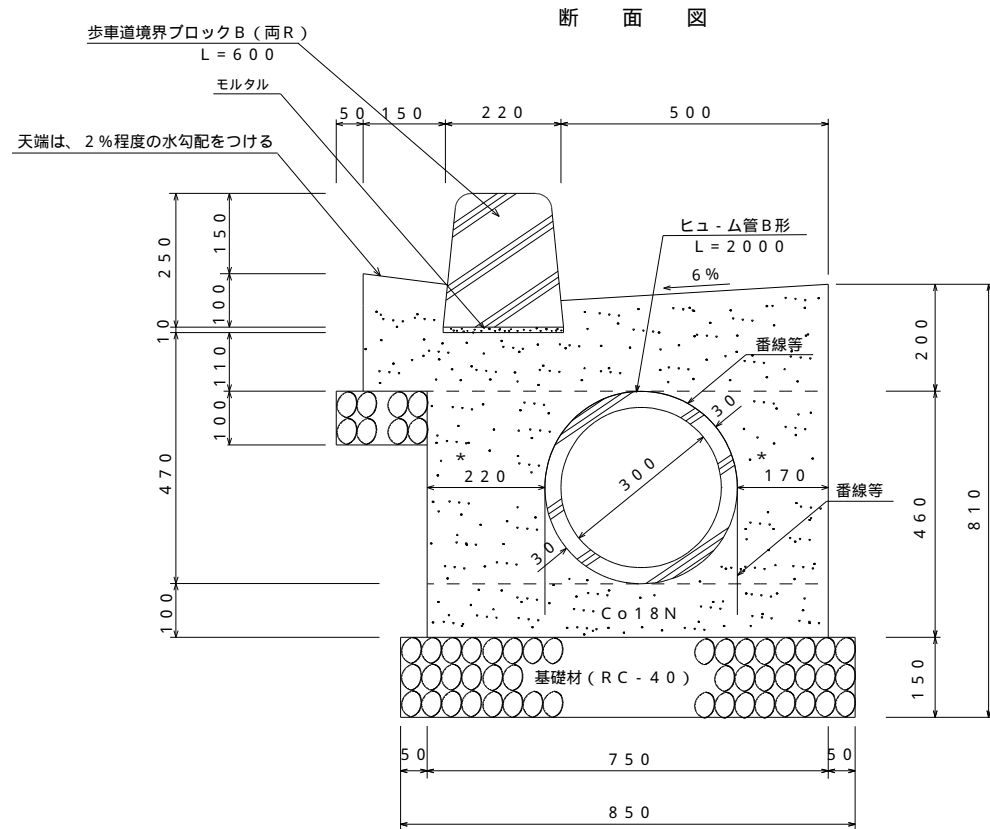


注意事項

1. 遠心力鉄筋コンクリート管（ヒューム管）は、JIS A 5372 B形1種を使用する。
2. 歩車道境界ブロックは、JIS A 5371 を使用する。
3. 曲線部等の配管の場合に、図中*の寸法は100mm以上とする。
4. 道路勾配と排水勾配が異なる場合に使用する。
5. コンクリート打設前に、遠心力鉄筋コンクリート管（ヒューム管）を番線等で必ず固定する。
6. コンクリート打設部は、10m毎に伸縮目地（ゴム系）を設置する。

規格	材 料 表 (10m当り)						
	コンクリート	基礎材	型 枠	目 地 材	モルタル	ブロック	ヒューム管
B750-H460	3.6 m ³	8.5 m ²	12.3 m ²	0.36 m ²	0.03 m ³	16.5 本	5.0 本

L形管渠工（セミフラット式）



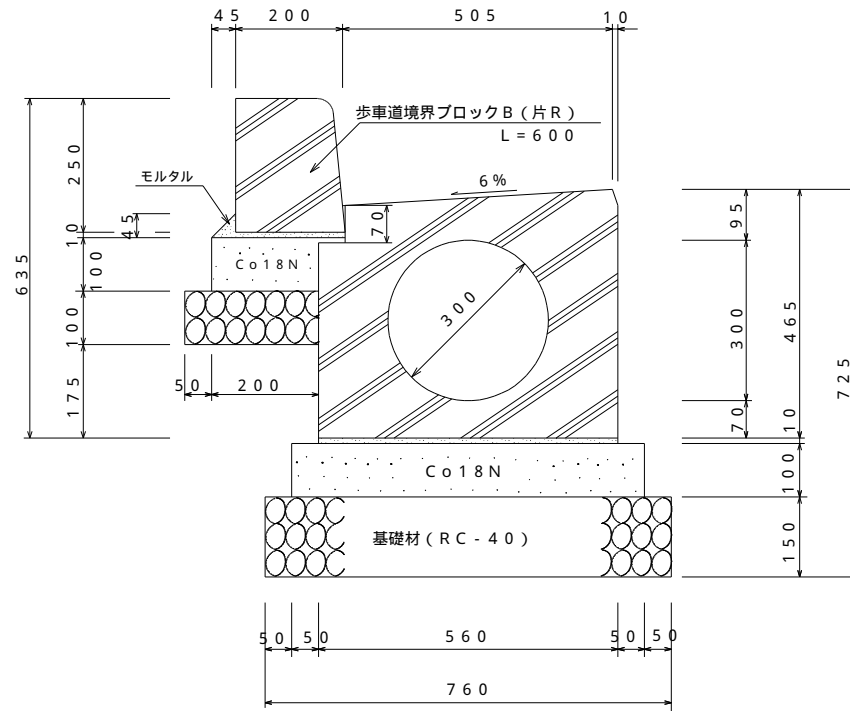
注 意 事 項

1. 遠心力鉄筋コンクリート管（ヒューム管）は、JIS A 5372 B形1種を使用する。
2. 歩車道境界ブロックは、JIS A 5371 を使用する。
3. 曲線部等に配管する場合には、図中*の寸法は100mm以上とする。
4. 道路勾配と排水勾配が異なる場合に使用する。
5. ブロック背面（歩道側）のコンクリート天端は、水勾配をつける。（2%程度）
6. コンクリート打設前に、遠心力鉄筋コンクリート管（ヒューム管）を番線等で必ず固定する。
7. コンクリート打設部は、1.0m毎に伸縮目地（ゴム系）を設置する。

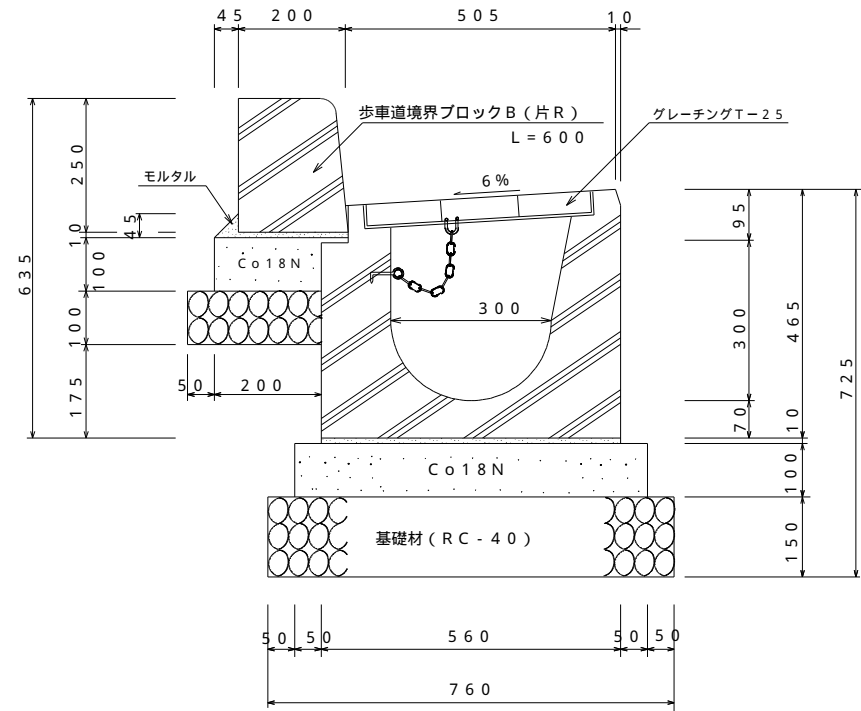
規 格	材 料 表 (10m当り)							
	コンクリート	基礎材 (厚15C)	基礎材 (厚10C)	型 枠	目 地 材	モルタル	ブロック	ヒューム管
B775-H460	3.9 m ³	8.5 m ²	1.7 m ²	13.4 m ²	0.39 m ²	0.02 m ³	16.5 本	5.0 本

プレキャストボックス側溝工 (マウントアップ式)

断面図



断面図



注意事項

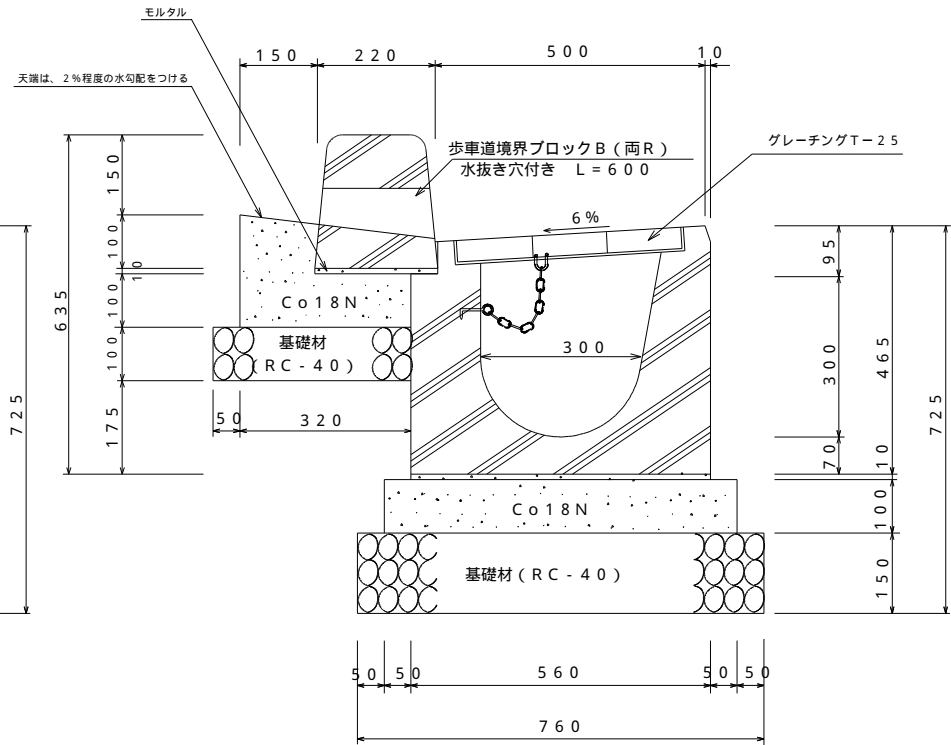
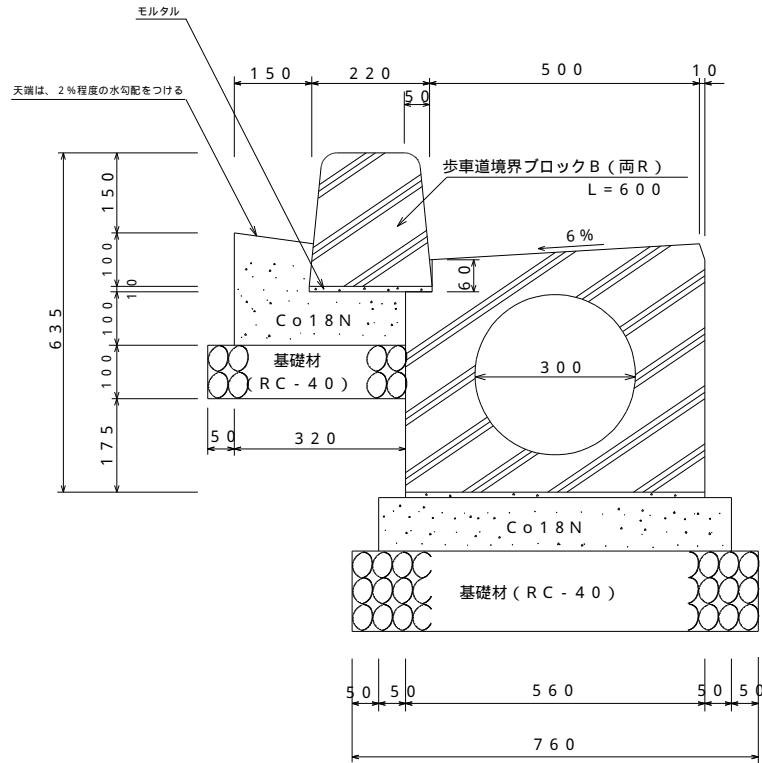
1. 製品本体及びグレーチング蓋は、耐荷重 T - 2.5 を標準とする。
2. 流水断面は、卵形・矩形・円形いずれの形状も使用可能とする。
3. グレーチング蓋は開閉式もしくは固定式とし、横部材の間隔が 50mm のものを使用する。
4. 部材接合部は、ゴムパッキン・シール材などで止水処理をする。
5. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。
6. グレーチング蓋は鎖付き (フック付アンカー) 及びノンスリップ加工とし、耐荷重 T - 2.5 を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。

規格	材 料 表 (10m 当り)							参考重量 2m/本 (Kg)	
	コンクリ - ト	基礎材 t=15	基礎材 t=10	型 枠	モルタル	境界ブロック	ボックス側溝	標 準	グレーチング L=500付
P B	0.86 m ³	7.6 m ²	2.5 m ²	3.0 m ²	0.09 m ³	16.5 本	5.0 本	830	780

プレキャストボックス側溝工 (セミフラット式)

断面図

断面図

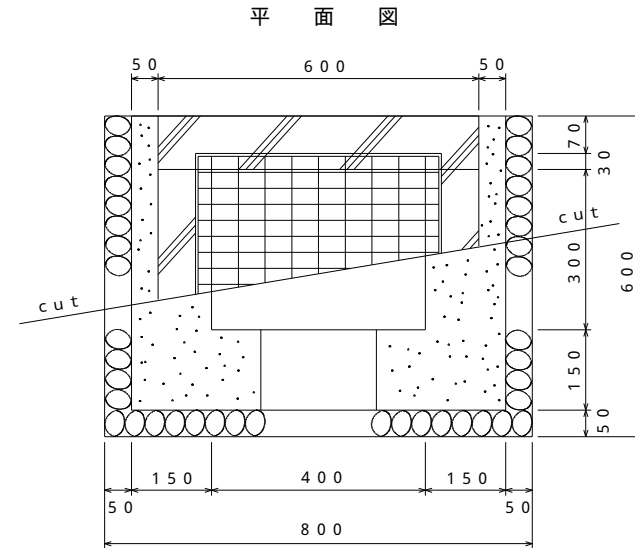
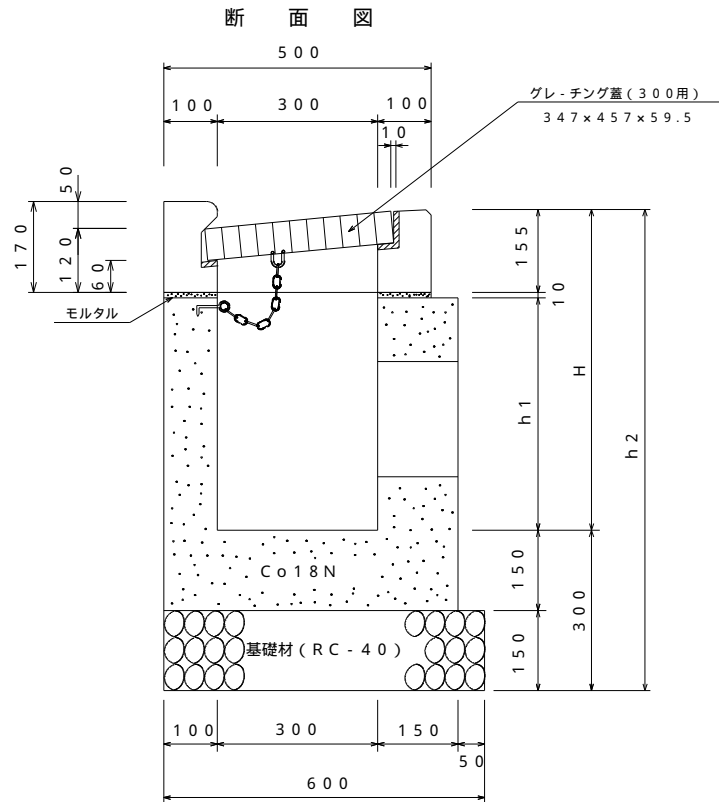


注意事項

1. 製品本体及びグレーチング蓋は、耐荷重 T - 25 を標準とする。
2. 流水断面は、卵形・矩形・円形いずれの形状も使用可能とする。
3. グレーチング蓋は開閉式もしくは固定式とし、横部材の間隔が 50mm のものを使用する。
4. 部材接合部は、ゴムパッキン・シール材などで止水処理をする。
5. ブロック背面（歩道側）のコンクリート天端は、水勾配をつける。（2%程度）
6. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。
7. コンクリート打設部は、10m毎に伸縮目地（ゴム系）を設置する。
8. グレーチング蓋は鎖付き（フック付アンカー）及びノンスリップ加工とし、耐荷重 T - 25 を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。

規格	材 料 表 (10m当り)							参考重量 2m/本 (Kg)	
	コンクリート	基礎材 t=15	基礎材 t=10	型 枠	モルタル	境界ブロック	ボックス側溝	標準	グレーチング L=500付
P B	1.1 m ³	7.6 m ²	3.7 m ²	4.1 m ²	0.08 m ³	16.5 本	5.0 本	830	780

L形雨水柵工（300用）G蓋



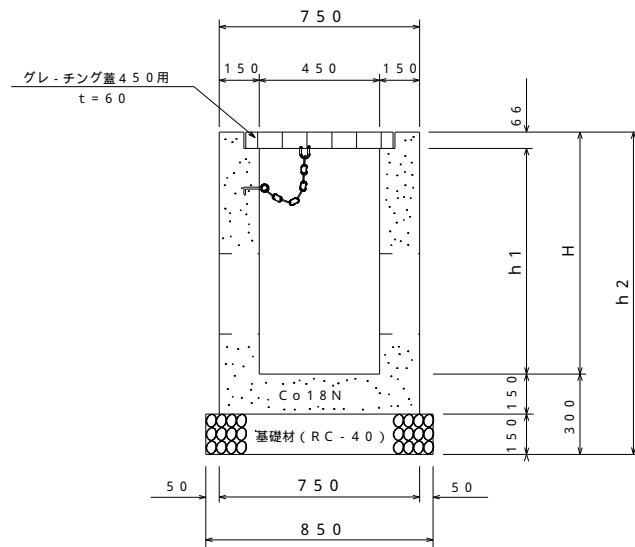
注意事項

1. グレーチング蓋は鎖付き（フック付アンカー）及びノンスリップ加工とし、耐荷重 T-25 を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレーチング蓋は、横部材の間隔が 50mm のものを使用する。
3. 特に指定する箇所には、ボルト固定や細目・手掛付きを使用する。
4. 樹底の泥だめは、10cm 以上とする。
5. 上部縁塊は、乗入れ段差 50mm を標準とする。
6. グレーチング蓋を設置した後の隙間（車道側）は、10mm 程度になるよう調整する。

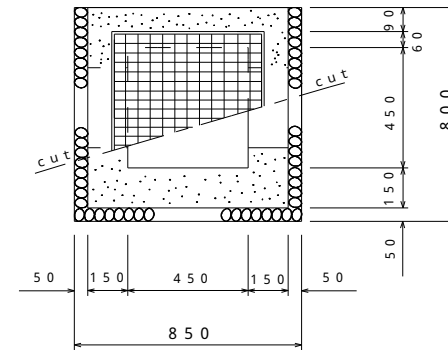
規格	寸法表 (単位mm)			材料表 (1個所当り)					
	H	h1	h2	コンクリ-ト	基礎材	型 枠	モルタル	雨水柵縁塊	グレ-チング蓋
500	500	335	800	0.14 m ³	0.48 m ²	1.9 m ²	0.002 m ³	1.0 個	1.0 枚
600	600	435	900	0.17	0.48	2.2	0.002	1.0	1.0
700	700	535	1000	0.19	0.48	2.6	0.002	1.0	1.0
800	800	635	1100	0.22	0.48	3.0	0.002	1.0	1.0
900	900	735	1200	0.25	0.48	3.4	0.002	1.0	1.0
1000	1000	835	1300	0.27	0.48	3.8	0.002	1.0	1.0

集水枮工(450用)G蓋

断面図



平面図



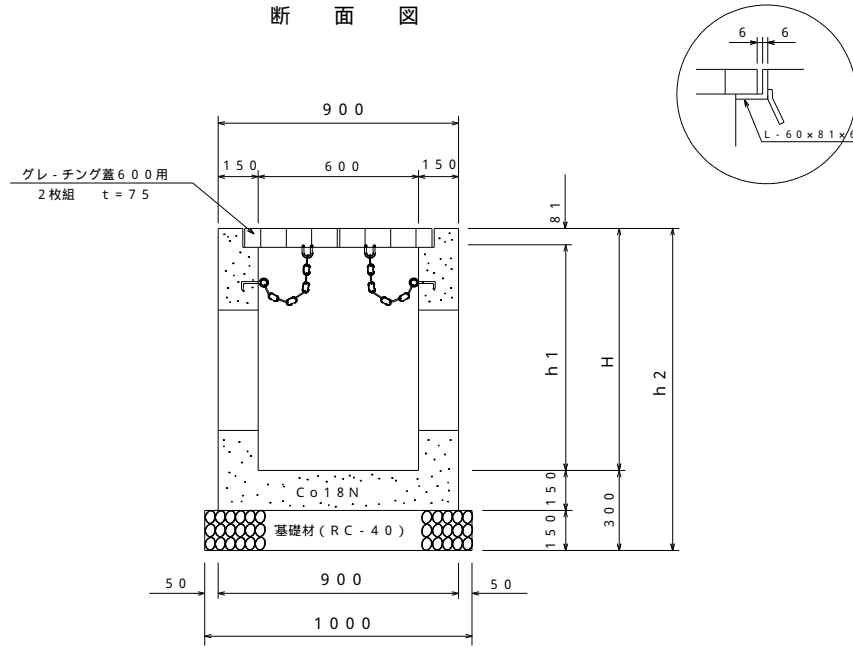
注意事項

1. グレーチング蓋は鎖付き(フック付アンカー)とし、耐荷重T-2.5を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレーチング蓋は、ノンスリップ加工とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
3. 特に指定する箇所には、ボルト固定式や細目・手掛付きを使用する。
4. 枮底の泥だめは、10cm以上とする。
5. 枮が現場打コンクリートでない場合は、基礎材上に敷モルタル10mmを打設する。

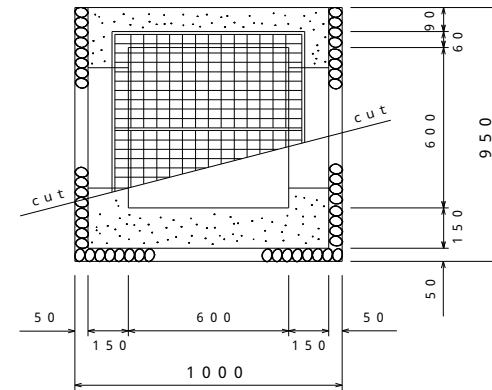
規格	寸法表 (単位mm)			材料表 (1個所当り)			
	H	h1	h2	コンクリート	基礎材	型枠	グレーチング蓋
500	500	434	800	0.23 m ³	0.68 m	3.4 m ²	1.0 組
600	600	534	900	0.27	0.68	3.9	1.0
700	700	634	1000	0.30	0.68	4.3	1.0
800	800	734	1100	0.34	0.68	4.8	1.0
900	900	834	1200	0.37	0.68	5.3	1.0
1000	1000	934	1300	0.41	0.68	5.8	1.0

集水枿工(600用)G蓋

断面図



平面図



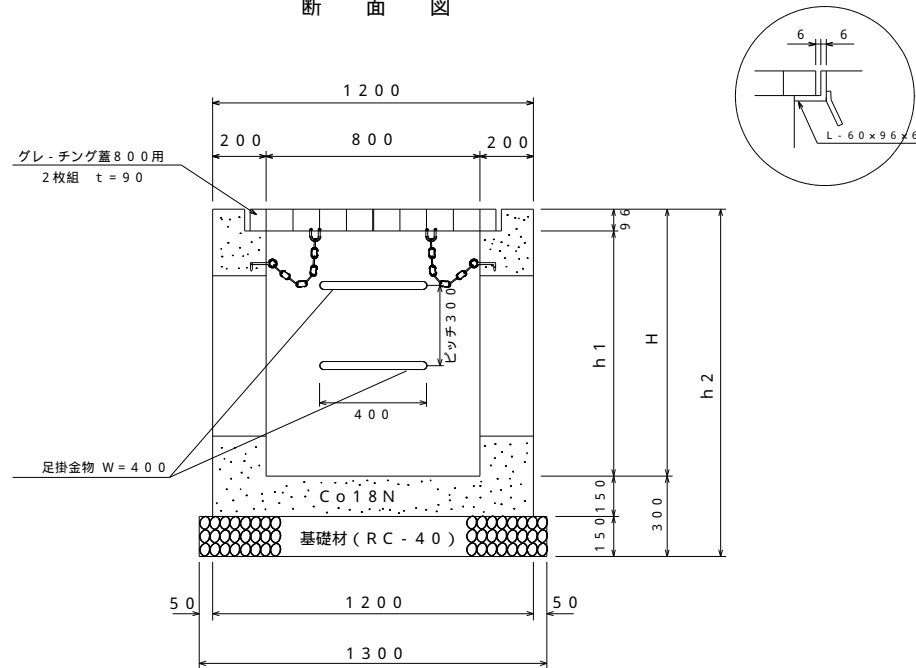
注意事項

1. グレーチング蓋は2枚割り鎖付き(フック付アンカー)とし、耐荷重T-2.5を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレーチング蓋は、ノンスリップ加工とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
3. 特に指定する箇所には、ボルト固定式や細目・手掛けを使用する。
4. 枿底の泥だめは、10cm以上とする。
5. 必要に応じ、昇降用の足掛け金物(SUS304・樹脂被覆性)を設置する。
6. 枿が現場打コンクリートでない場合は、基礎材上に敷モルタル10mmを打設する。

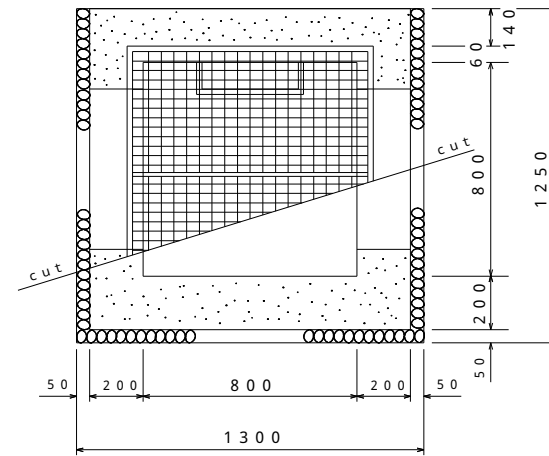
規格	寸法表(単位mm)			材料表(1個所当り)			
	H	h1	h2	コンクリート	基礎材	型枠	グレーチング蓋
800	800	719	1100	0.41 m ³	0.95 m ²	6.1 m ²	1.0 組
900	900	819	1200	0.45	0.95	6.7	1.0
1000	1000	919	1300	0.50	0.95	7.3	1.0

集水枡工 (800 用) G 蓋

断面図



平面図



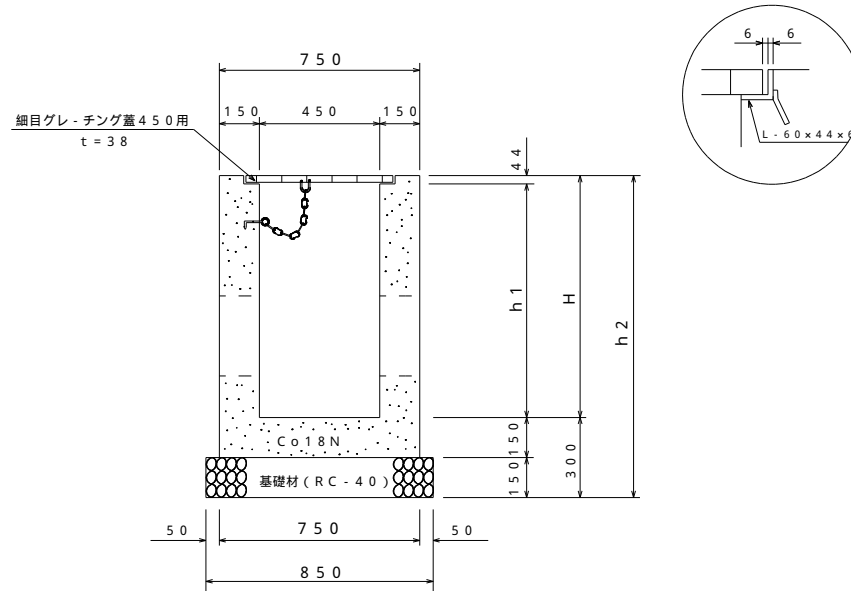
注意事項

1. グレ-チング蓋は2枚割り鎖付き(フック付アンカー)とし、耐荷重T-2.5を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレ-チング蓋は、ノンスリップ加工とし、横部材の間隔が5.0mmのものを使用する。
3. 特に指定する箇所には、ボルト固定式や細目・手掛付きを使用する。
4. 樹底の泥だめは、1.0cm以上とする。
5. 必要に応じ、昇降用の足掛金物(SUS304・樹脂被覆性)を設置する。
6. 枡が現場打コンクリートでない場合は、基礎材上に敷モルタル10mmを打設する。

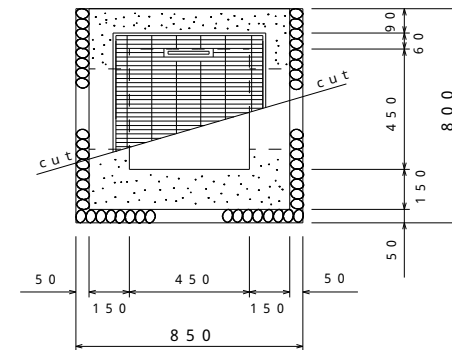
規格	寸法表 (単位mm)			材料表 (1個所当り)			
	H	h1	h2	コンクリ-ト	基礎材	型 枠	グレ-チング蓋
1000	1000	904	1300	0.86 m ³	1.6 m ²	9.9 m ²	1.0 組
1200	1200	1104	1500	1.0	1.6	11.5	1.0

集水枦工（歩道450用 細目G蓋）

断面図



平面図

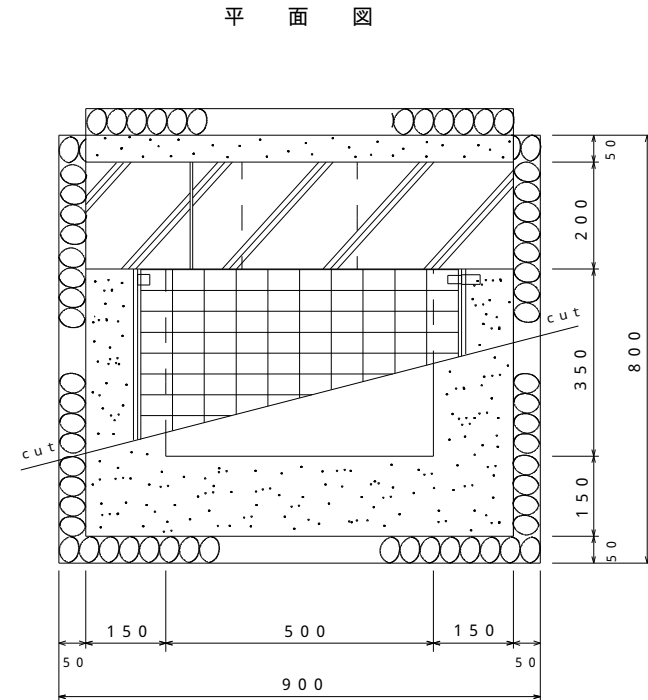
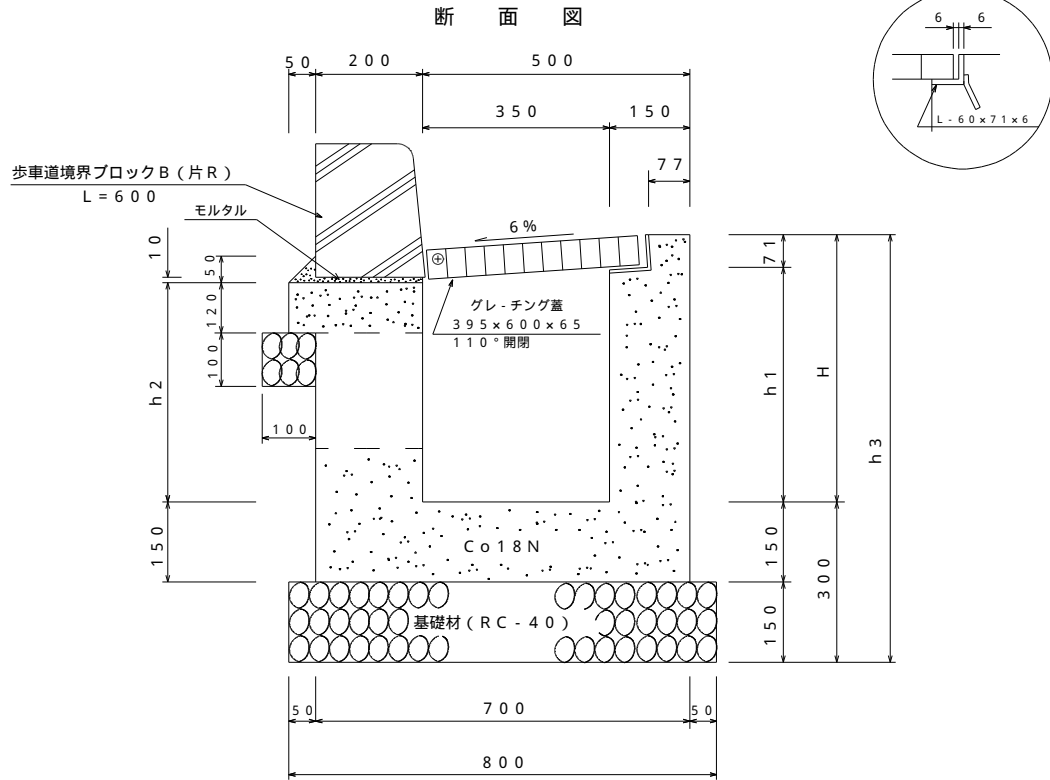


注意事項

1. グレ - チング蓋は鎖付き（フック付アカー）とし、耐荷重T - 6以上を標準とする。
2. グレーチング蓋はノンスリップ加工とし、細目・手掛付きを使用する。
3. 枦底の泥だめは、10cm以上とする。
4. 特に指定する箇所には、グレーチングのボルト固定式を使用する。
5. 枦が現場打コンクリートでない場合は、基礎材上に敷モルタル10mmを打設する。

規格	寸法表（単位mm）			材料表（1個所当たり）			
	H	h1	h2	コンクリート	基礎材	型枠	細目G蓋
500	500	469	800	0.23 m ³	0.68 m ²	3.4 m ²	1.0 組
600	600	569	900	0.27	0.68	3.9	1.0
700	700	669	1000	0.31	0.68	4.4	1.0
800	800	769	1100	0.34	0.68	4.9	1.0
900	900	869	1200	0.38	0.68	5.3	1.0
1000	1000	969	1300	0.41	0.68	5.8	1.0

L形街渠柵工 (350×500) マウントアップ式

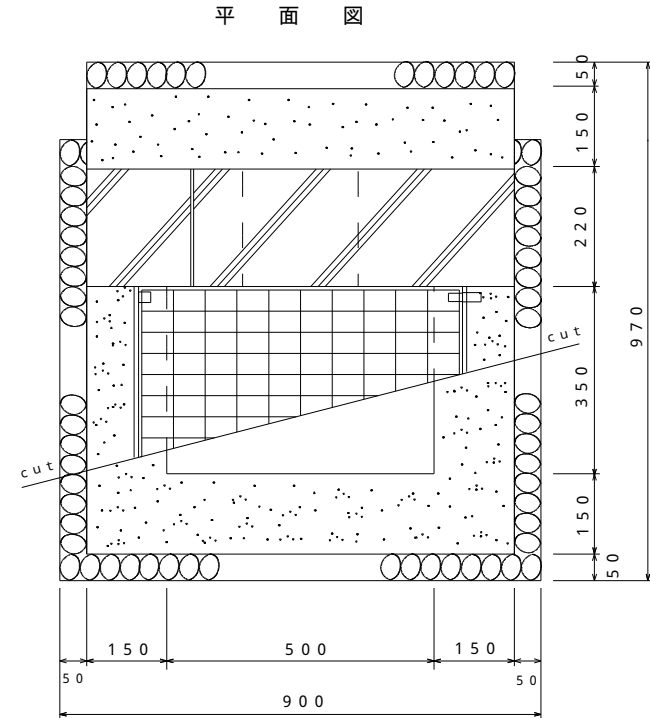
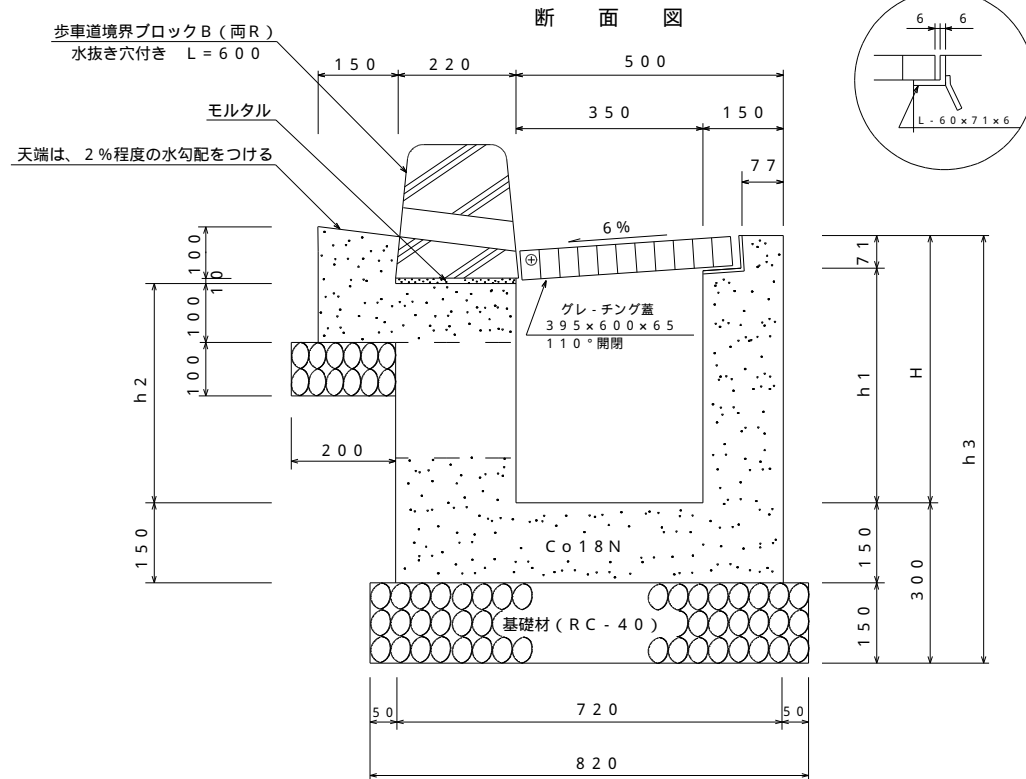


注意事項

1. グレーチング蓋は耐荷重T-25、110°開閉式を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレーチング蓋は、ノンスリップ加工とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
3. 受枠は、3面アングル1面フラットバーとする。
4. 柵底の泥だめは、10cm以上とする。
5. 特に指定する箇所には、グレーチング蓋のボルト固定、細目・手掛付きを使用する。
6. 歩車道境界ブロックは、JIS A 5371 Bブロックを標準とする。
7. 柵が現場打コンクリートでない場合は、基礎材上に敷モルタル10mmを打設する。

規格	寸法表 (単位mm)				材料表 (1個所当り)						
	H	h1	h2	h3	コンクリート	基礎材 t=15	基礎材 t=10	型枠	モルタル	ブロック	グレーチング蓋
350×500	500	429	410	800	0.23 m ³	0.72 m ²	0.08 m ²	3.1 m ²	0.002 m ³	1.3 本	1.0 組
600	600	529	510	900	0.27	0.72	0.08	3.6	0.002	1.3	1.0
700	700	629	610	1000	0.31	0.72	0.08	4.0	0.002	1.3	1.0
800	800	729	710	1100	0.35	0.72	0.08	4.5	0.002	1.3	1.0
900	900	829	810	1200	0.39	0.72	0.08	5.0	0.002	1.3	1.0

L形街渠柵工 (350×500) セミフラット式



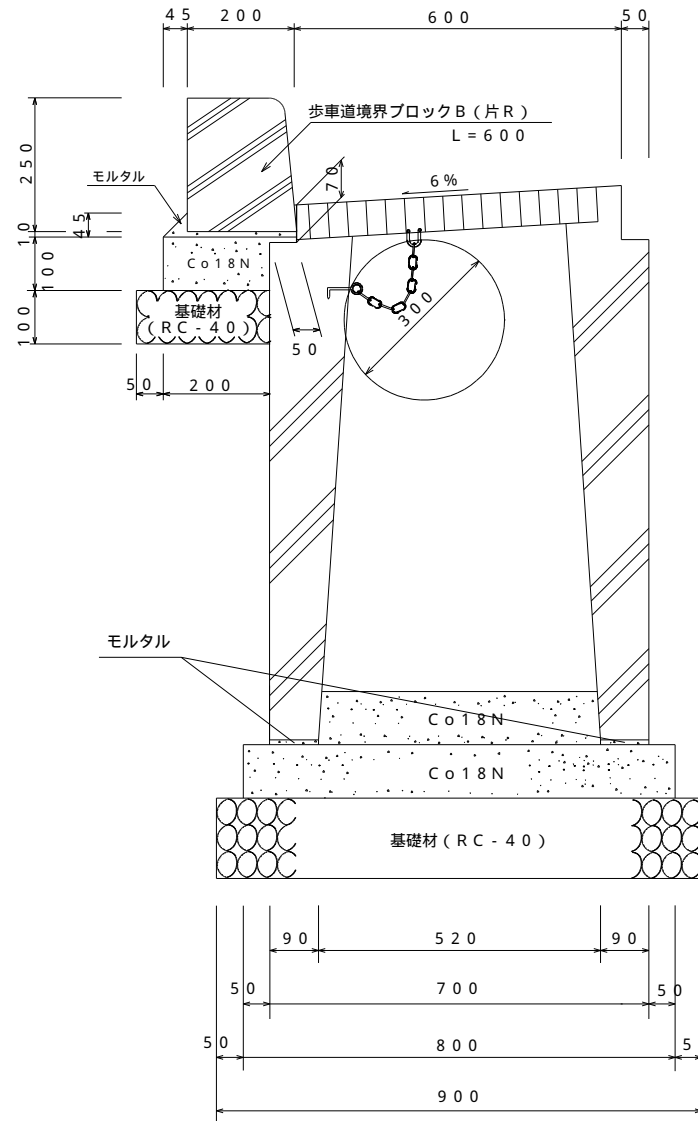
注意事項

1. グレ-チング蓋は耐荷重T-2.5、110°開閉式を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。
2. グレ-チング蓋は、ノンスリップ加工とし、横部材の間隔が50mmのものを使用する。
3. 受枠は、3面アングル1面フラットバーとする。
4. 柵底の泥だめは、10cm以上とする。
5. 特に指定する箇所には、グレ-チング蓋のボルト固定、細目・手掛付きを使用する。
6. 歩車道境界ブロックは、JIS A 5371 Bブロックを標準とする。
7. ブロック背面(歩道側)のコンクリート天端は、水勾配をつける。(2%程度)
8. 柵が現場打コンクリートでない場合は、基礎材上に敷モルタル10mmを打設する。

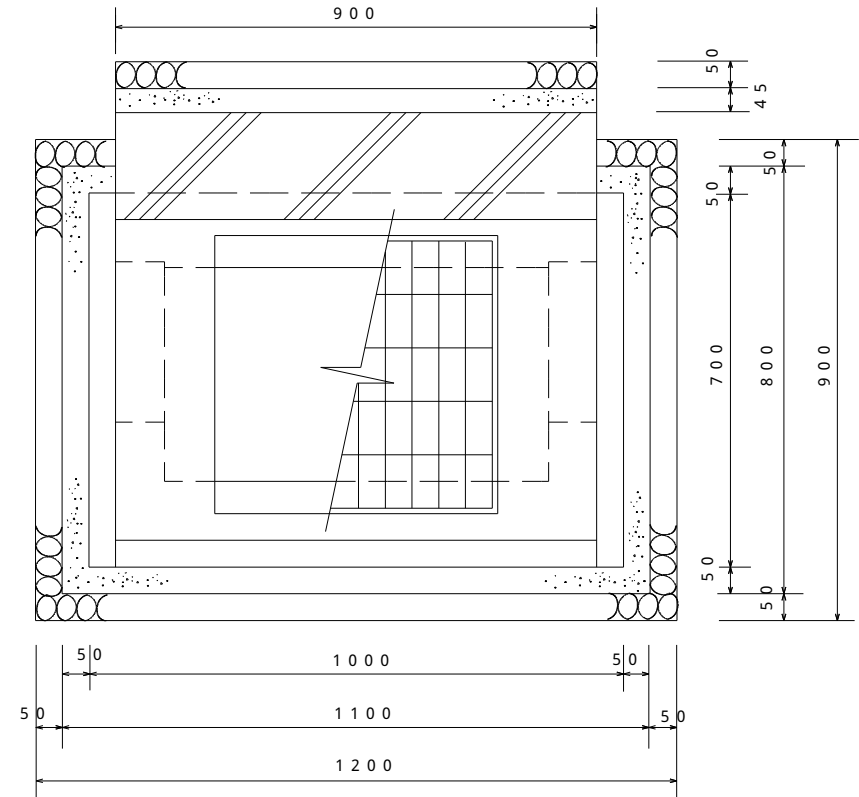
規格	寸法表 (単位mm)				材料表 (1個所当り)						
	H	h1	h2	h3	コンクリ-ト	基礎材 t=15	基礎材 t=10	型 枠	モルタル	ブロック	グレ-チング蓋
500	500	429	410	800	0.30 m ³	0.74 m ²	0.16 m ²	3.2 m ²	0.002 m ³	1.3 本	1.0 組
600	600	529	510	900	0.32	0.74	0.16	3.7	0.002	1.3	1.0
700	700	629	610	1000	0.36	0.74	0.16	4.2	0.002	1.3	1.0
800	800	729	710	1100	0.40	0.74	0.16	4.6	0.002	1.3	1.0
900	900	829	810	1200	0.44	0.74	0.16	5.1	0.002	1.3	1.0

プレキャストボックス側溝柵工 マウントアップ式

断面図



平面図



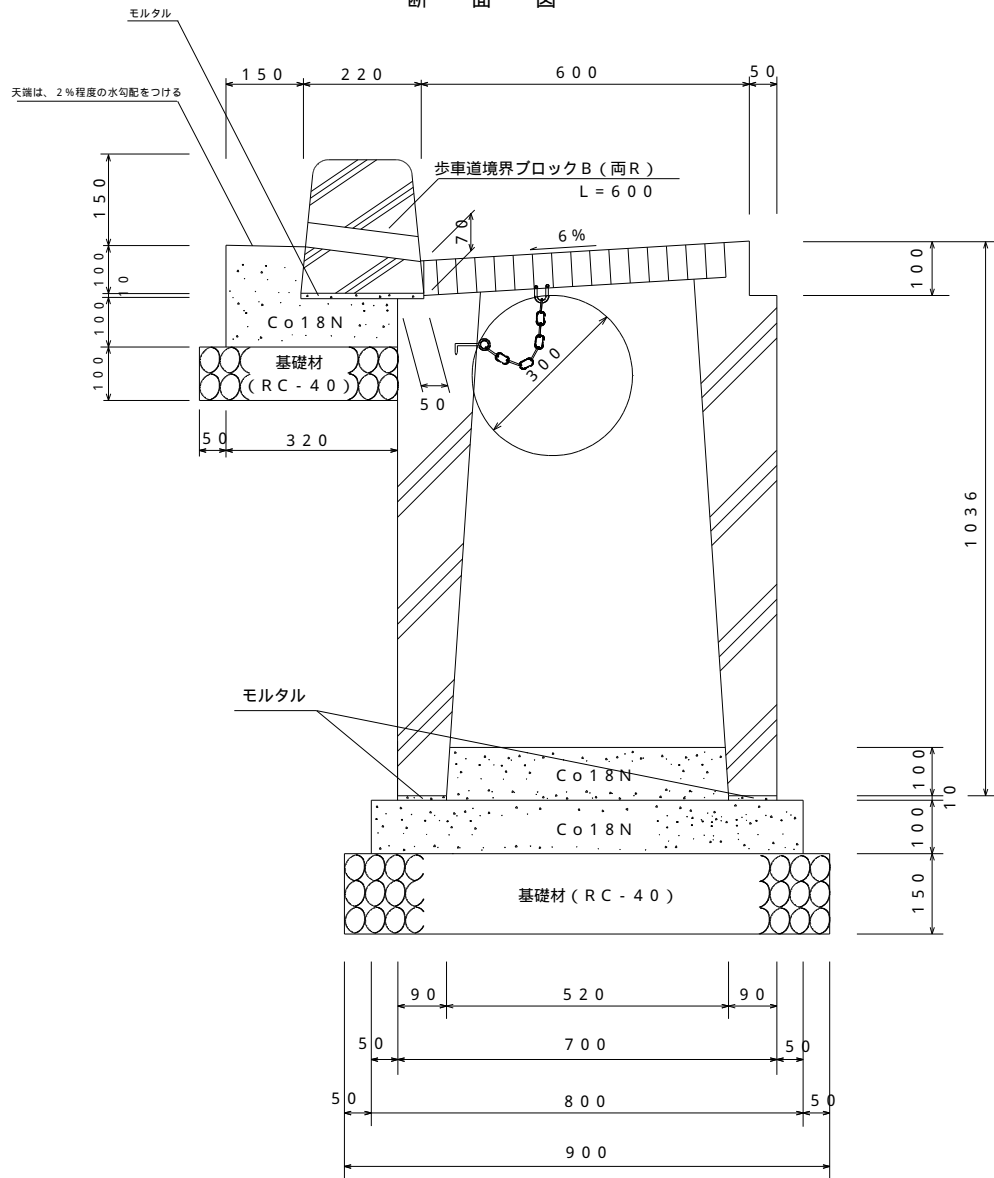
注意事項

1. 製品本体及びグレーチング蓋は、耐荷重 T - 2.5 を標準とする。
2. 流水断面は、卵形・矩形・円形いずれの形状も使用可能とする。
3. グレーチング蓋は開閉式もしくは固定式とし、横部材の間隔が 50mm のものを使用する。
4. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。
5. グレーチング蓋は鎖付き（フック付アンカー）及びノンスリップ加工とし、耐荷重 T - 2.5 を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。

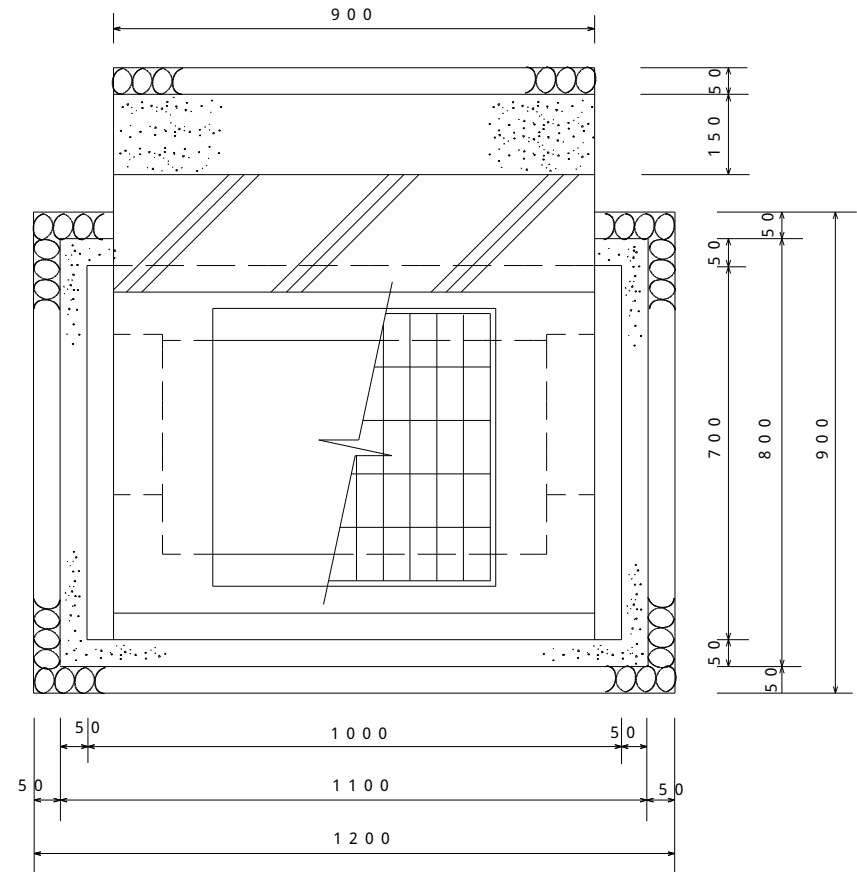
区 分	材 料 表 (1箇所当り)					
	RC - 40	基礎コンクリート	型 枠	モルタル	インパ-トコンクリート	柵ブロック
柵 部	0.16 m ³	0.09 m ³	0.38 m ²	0.003 m ³	0.04 m ³	1 個
境界ブロック部	境界ブロック	RC - 40	基礎コンクリート	型 枠	モルタル	
	1.5 本	0.02 m ³	0.02 m ³	0.09 m ²	0.003 m ³	

プレキャストボックス側溝柵工 セミフラット式

断面図



平面図



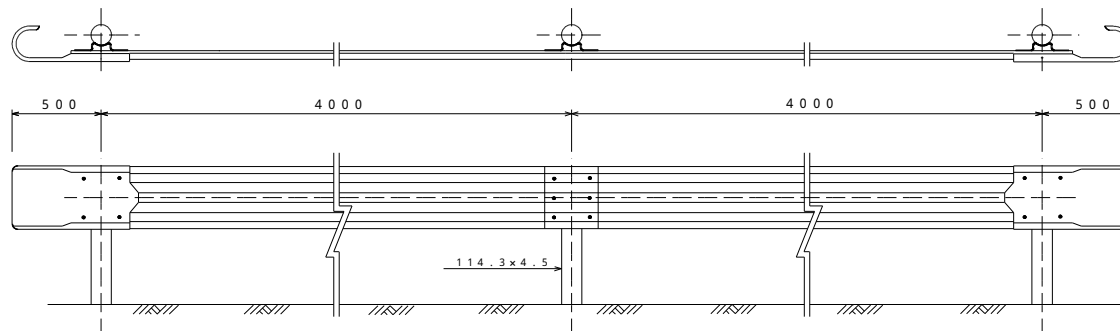
注意事項

1. 製品本体及びグレーチング蓋は、耐荷重 T - 2.5 を標準とする。
2. 流水断面は、卵形・矩形・円形いずれの形状も使用可能とする。
3. グレーチング蓋は開閉式もしくは固定式とし、横部材の間隔が 50 mm のものを使用する。
4. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。
5. グレーチング蓋は鎖付き (フック付アンカー) 及びノンスリップ加工とし、耐荷重 T - 2.5 を標準としているが、路線によって道路管理者の指定する荷重を採用する。

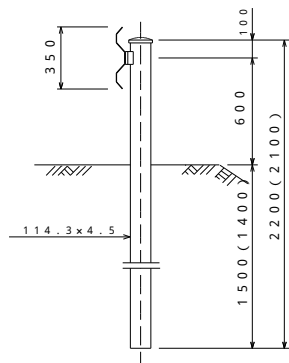
区分	材 料 表 (1箇所当り)					
	RC-40	基礎コンクリート	型 枠	モルタル	パル・コンクリート	柵ブロック
柵 部	0.16 m ³	0.09 m ³	0.38 m ²	0.003 m ³	0.04 m ³	1 個
境界ブロック部	1.5 本	0.03 m ³	0.04 m ³	0.19 m ²	0.002 m ³	

ガードレール工（路側用・土中建込）

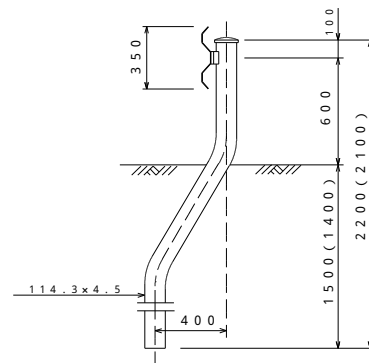
組立図



支柱



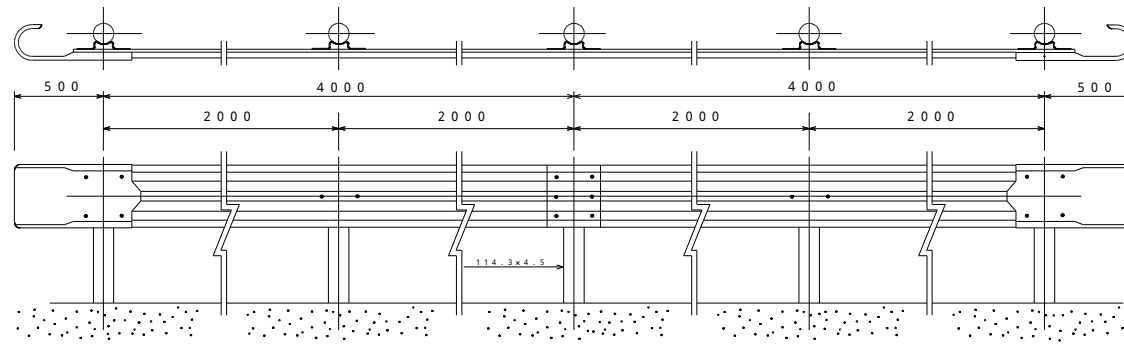
曲柱



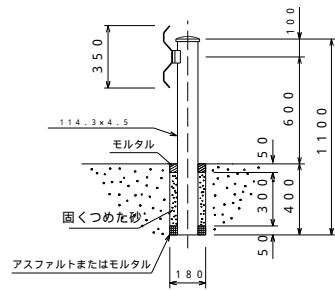
用途	種別	設計速度 (km/h)	記号	ピ - ム 寸法		支柱 間隔 (m)
				厚さ × 幅 × 長さ (mm)	外径 × 管厚 × 長さ (mm)	
路 側 用	B	60km/h 以上	Gr-B-4E	3.2 × 350 × 4330	114.3 × 4.5 × 2200	4
			旧 Gr-B-4ES	3.2 × 350 × 4330	114.3 × 4.5 × 2200(S)	4
	C	50km/h 以下	Gr-C-4E	2.3 × 350 × 4330	114.3 × 4.5 × 2100	4
			旧 Gr-C-4ES	2.3 × 350 × 4330	114.3 × 4.5 × 2100(S)	4

ガ - ドレ - ル工 (路側用・コンクリート建込)

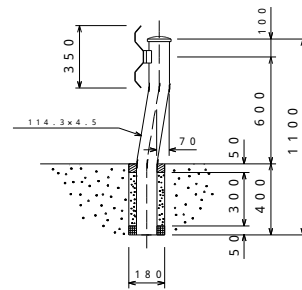
組立図



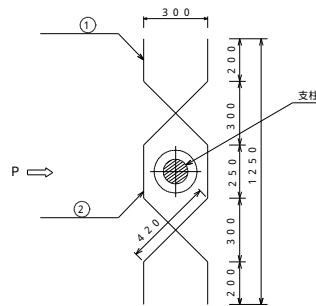
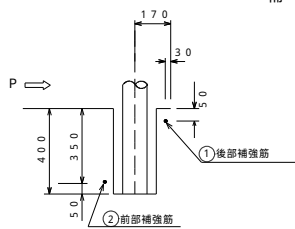
支柱



曲柱



補強鉄筋



用途	種別	設計速度 (km/h)	記号	ビーム寸法	支柱寸法	支柱間隔 (m)
				厚さ×幅×長さ (mm)	外径×管厚×長さ (mm)	
路側用	B	60km/h以上	Gr-B-2B	3.2×350×4330 (3.2×350×2330)	114.3×4.5×1100	2
			Gr-B-2BS	3.2×350×4330 (3.2×350×2330)	114.3×4.5×1110(S)	2
用	C	50km/h以下	Gr-C-2B	2.3×350×4330 (2.3×350×2330)	114.3×4.5×1100	2
			Gr-C-2BS	2.3×350×4330 (2.3×350×2330)	114.3×4.5×1110(S)	2

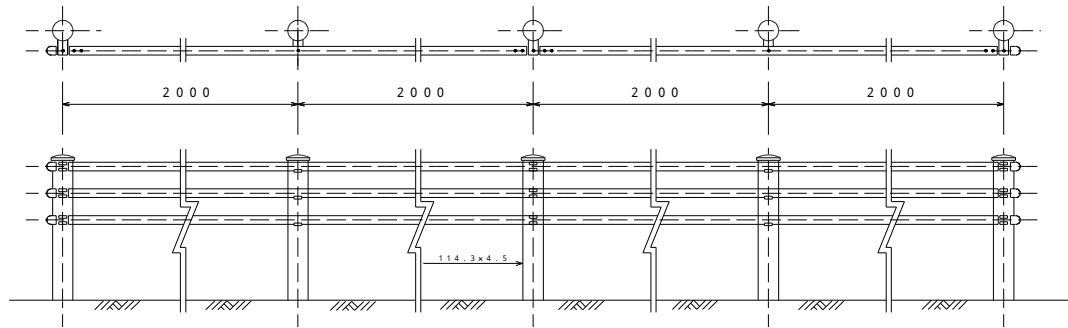
支柱1本当たり鉄筋量 (埋め込み深さ400mmの場合)

番号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (Kg/本)	重量 Kg	摘要
①	D13	1490	1	1.483	1.48	
②	D13	1490	1	1.483	1.48	

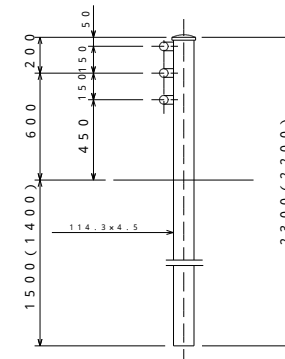
鉄筋はSD345 コンクリート強度 ck=21N/mm²とする。
適用条件の詳細は「防護柵の設置基準・同解説(日本道路協会)」による。

ガ - ドパイプ工 (土中建込)

組立図



支柱



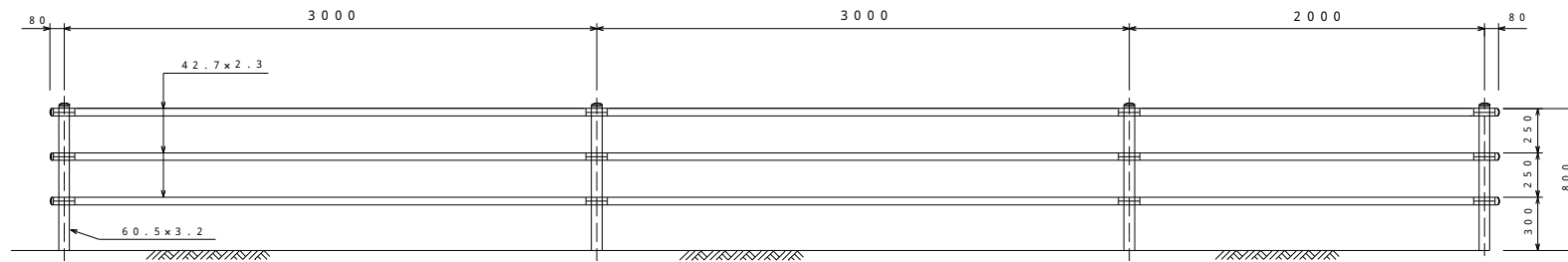
()内はC種の寸法

用途	種別	設計速度 (km/h)	記号	ピ - ム寸法	支柱寸法	支柱 間隔 (m)
				厚さ × 外径 × 長さ (mm)	外径 × 管厚 × 長さ (mm)	
歩 道 用	B	60km/h 以上	Gp-Bp-2E	3.2 × 48.6 × 3936	114.3 × 4.5 × 2300	2
	C	50km/h 以下	Gp-Cp-2E	2.4 × 48.6 × 3936	114.3 × 4.5 × 2200	2

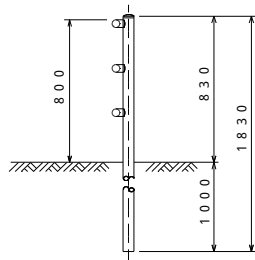
適用条件の詳細は「防護柵の設置基準・同解説(日本道路協会)」による。

横断防止柵工（P種ビーム）

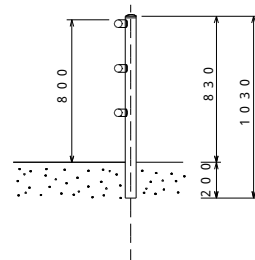
組立図



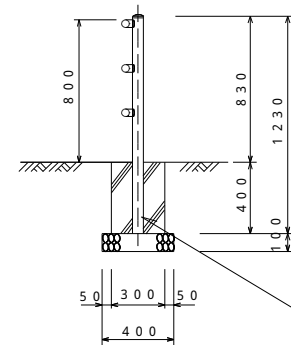
土中用（E）



コンクリ - ト建込用（W）



コンクリ - ト基礎用（C）



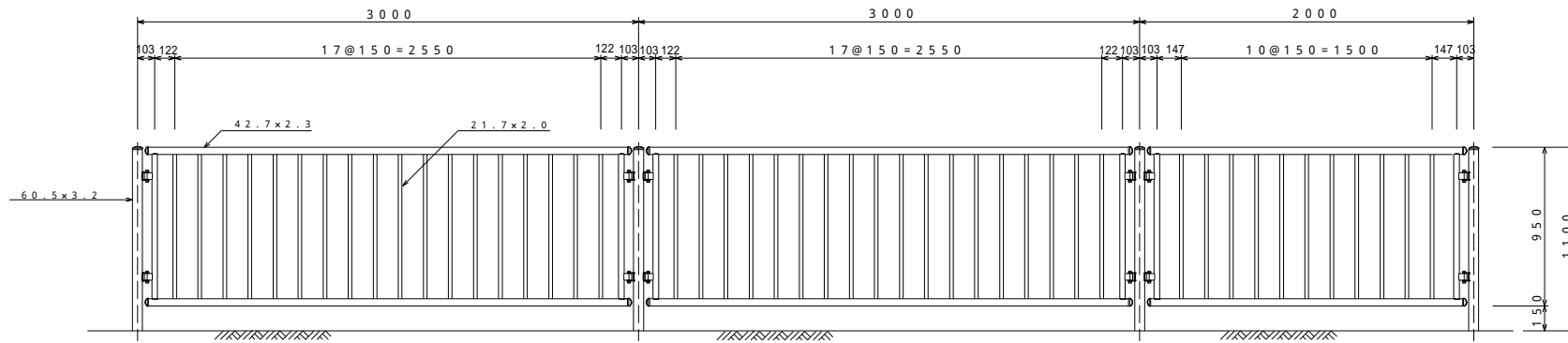
充填材はモルタルとする

注意事項

1. 支柱間隔は3mを標準とする。
2. 形状については標準的なものである。
3. 適用条件の詳細は「防護柵の設置基準・同解説(日本道路協会)」による。

転落防止柵工（P種縦柵パネル）

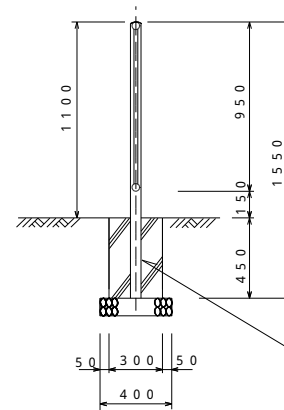
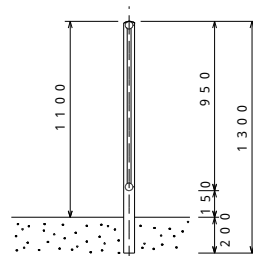
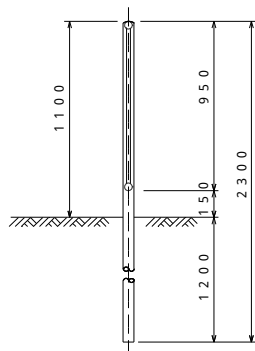
組立図



土中用（E）

コンクリート建込用（W）

コンクリート基礎用（C）



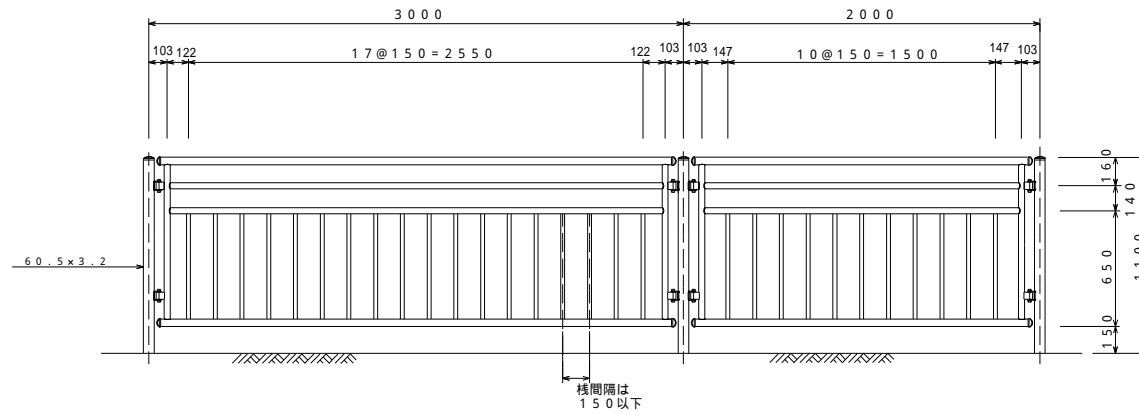
注意事項

1. 支柱間隔は3mを標準とする。
2. コンクリート建込用で削孔後に建込む場合の中詰めは、モルタルとする。
3. 形状については、標準的なものである。
4. 適用条件の詳細は「防護柵の設置基準・同解説（日本道路協会）」による。

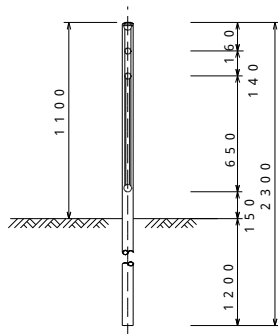
充填材はモルタルとする

転落防止柵工（P種ビーム・縦柵パネル）

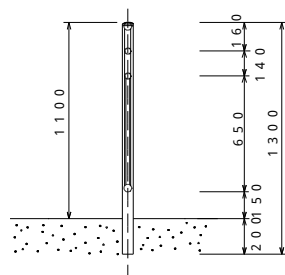
組立図



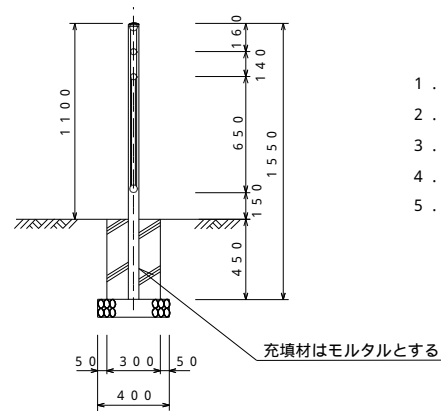
土中用（E）



コンクリート建込用（W）



コンクリート基礎用（C）

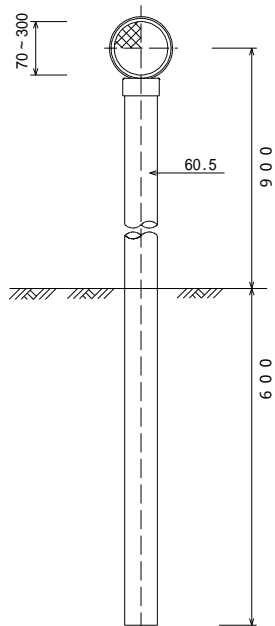


注意事項

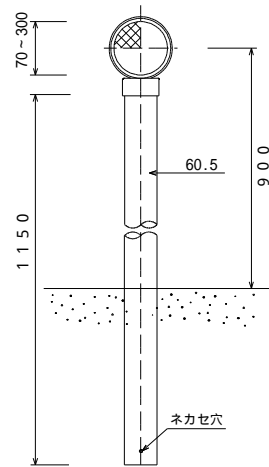
1. 支柱間隔は3mを標準とする。
2. コンクリート建込用で、削孔後に建込む場合の中詰めは、モルタルを充填すること。
3. 形状については、標準的なものである。
4. 適用条件の詳細は「防護柵の設置基準・同解説(日本道路協会)」による。
5. 適用範囲は隅切り等や交差点部など、見通しの悪い条件の箇所とする。

視線誘導標設置工（デリネーター）

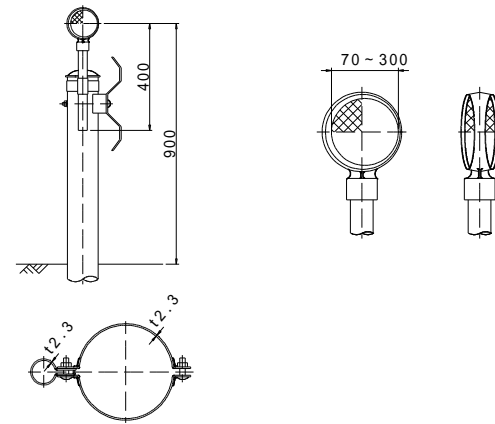
（土中建込）



（コンクリート建込）



（ガードレール取付）

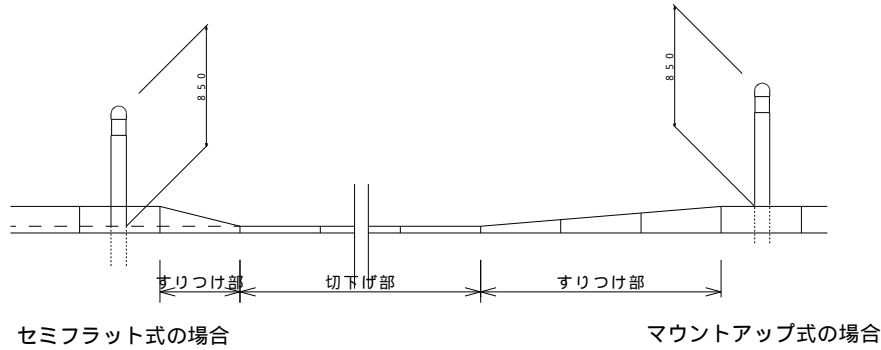


注意事項

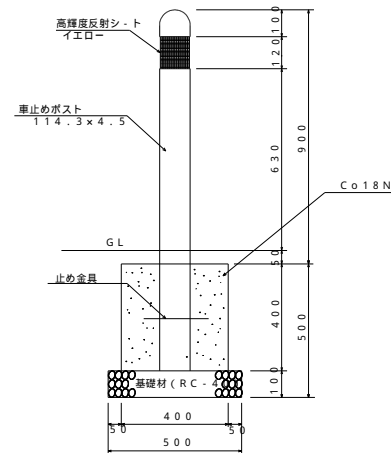
1. 視線誘導標の反射体は進行方向左側を白色、右側を橙色とする。
2. 反射体の直径は、100mmを標準とするが、設置場所周辺の状況を勘案するものとする。
3. 反射体は、両面平行を標準とするが設置場所周辺の状況により角度付きを用いる。

車止めポスト設置工

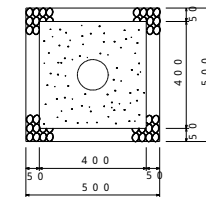
設置例



断面図



平面図



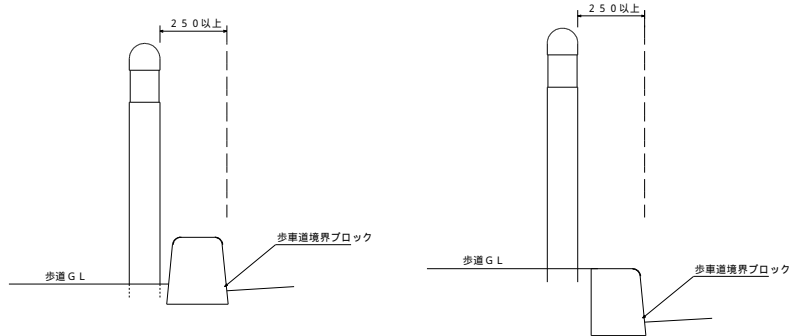
配置例

セミフラット式の場合

マウントアップ式の場合

歩道 | 車道

歩道 | 車道

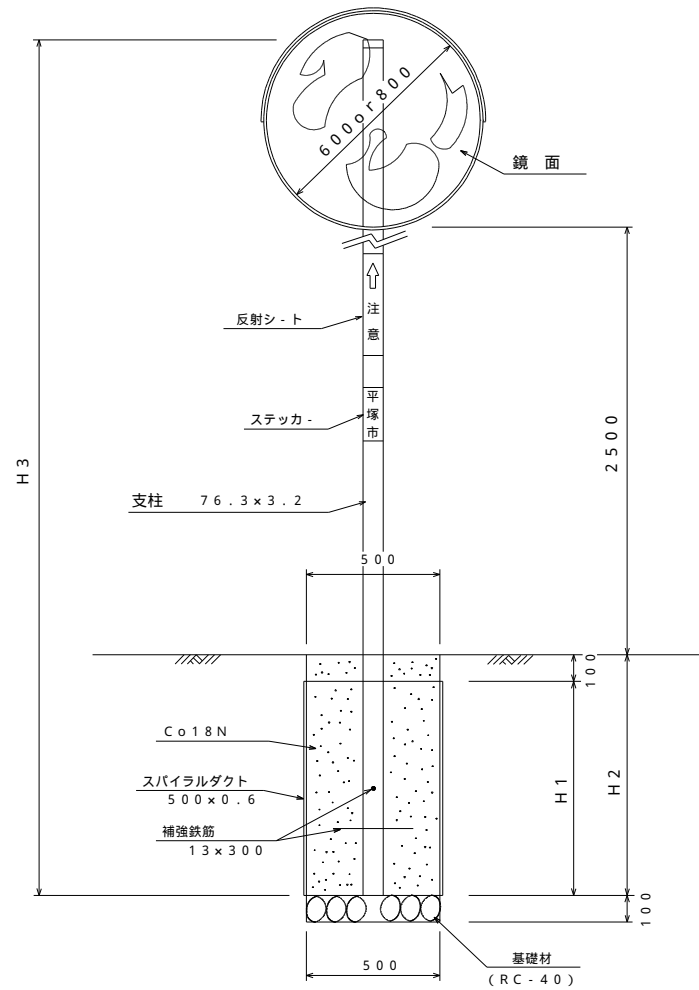


注意事項

1. 本体の形状は標準的なものである。
2. 塗装色については、道路管理者の指定する色とする。
3. 製品の仕様については、事前に承認を受けるものとする。

規格	寸法表(単位 mm)		材 料 表 (100本当たり)		
	L		コンクリート	基礎材	型 枠 車止ポスト
H=900	1300		6.4 m ³	25.0 m ²	64.0 m ² 100本

道路反射鏡基礎工（1面）

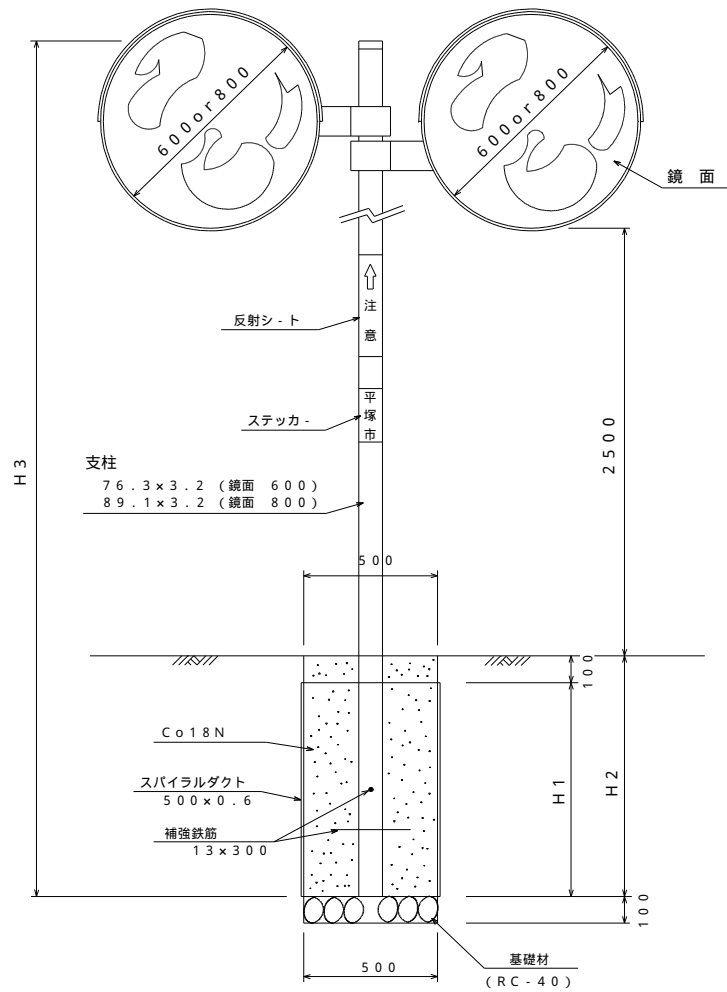


規格	寸法表(単位 mm)			材 料 表 (1基当り)				
	H 1	H 2	H 3	コンクリ - ト	基 礎 材	型 枠	スパイラルダクト	道路反射鏡セット
径 600	500	600	3600	0.14 m ³	0.2 m ²	0.20 m ²	0.5 m	1 組
径 800	800	900	4000	0.18	0.2	0.20	0.8	1

注 意 事 項

1. 形状・仕様は「道路反射鏡設置指針」に基づくものとする。
2. 取付金具、ボルトナット類は溶融亜鉛メッキ処理とする。
3. 基礎の適用については「道路付属物の基礎について」(昭和50.7.15道企発第52号)によるものとする。

道路反射鏡基礎工（2面）



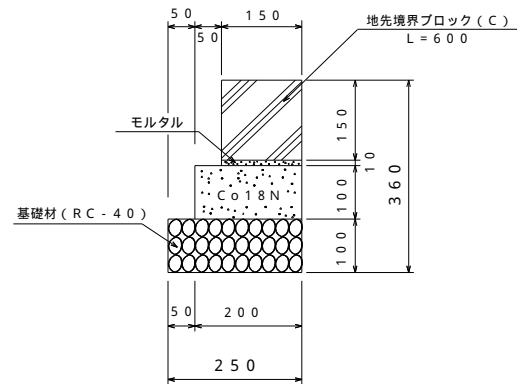
規格	寸法表(単位mm)			材料表 (1基当り)				
	H1	H2	H3	コンクリート	基礎材	型枠	スパイラルダクト	道路反射鏡セット
径 600	800	900	4000	0.18 m ³	0.2 m ²	0.20 m ²	0.8 m	1 組
径 800	1100	1200	4400	0.22	0.2	0.20	1.1	1

注意事項

1. 形状・仕様は「道路反射鏡設置指針」に基づくものとする。
2. 取付金具、ボルトナット類は溶融亜鉛メッキ処理とする。
3. 基礎の適用については「道路付属物の基礎について」(昭和50.7.15道企発第52号)によるものとする。

舗装止工（地先境界ブロック）

断面図



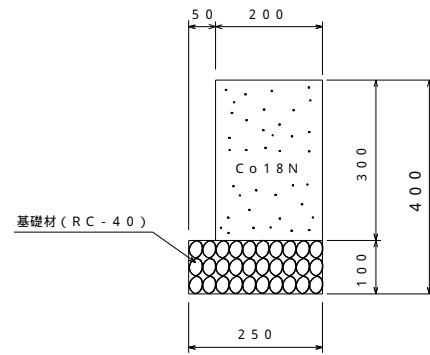
注意事項

1. 地先境界ブロックは、JIS A 5371を使用する
2. ブロックの目地間隔は、5mmとする。
3. 地先境界ブロックは、Cブロックを標準とする。

コンクリート	基礎材	型 枠	モルタル	ブロック
0.20 m ³	2.5 m ²	2.0 m ²	0.02 m ³	16.5 個

舗装止工（現場打ちコンクリート）

断面図



注意事項

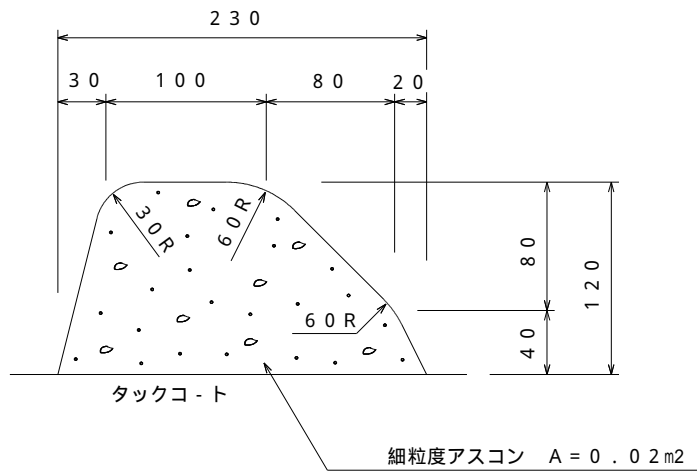
1. コンクリート打設部は、1.0m毎に伸縮目地（ゴム系）を設置する。

材 料 表 (1.0m当り)			
コンクリート	基礎材	型 枠	目 地 材
0.60 m^3	2.5 m^2	6.0 m^2	0.06 m^2

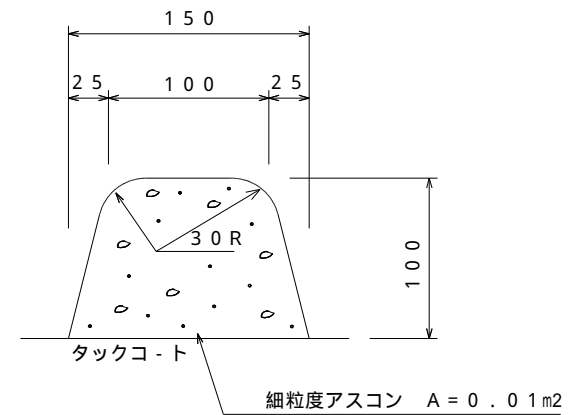
アスカ - プ設置工

断面図

(1) 100 / 230 × 120

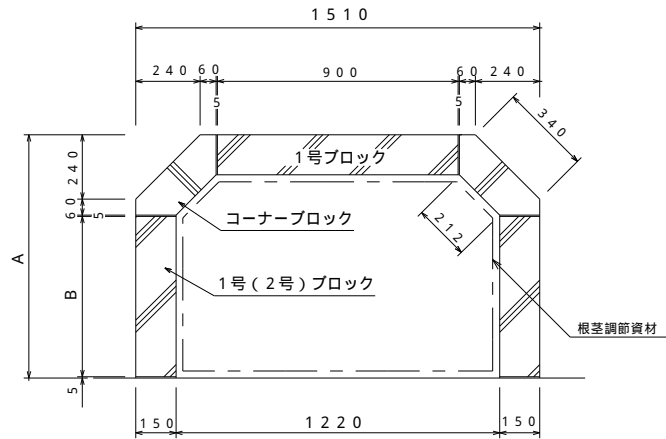


(2) 100 / 150 × 100



並木柵工、植樹帯工

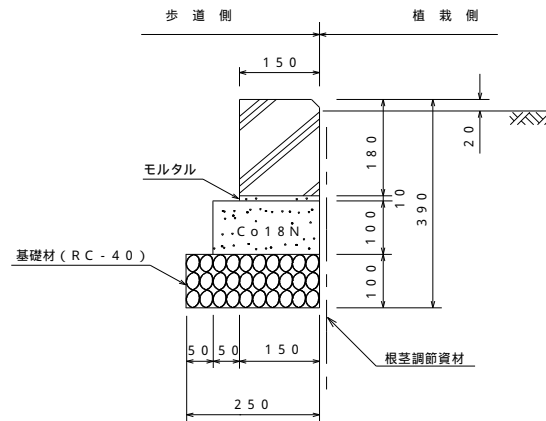
並木柵



()は1500×600タイプ

規格	寸法表(単位mm)		材 料 表 (1個所当り)						根茎調節資材(参考)		
	A	B	コンクリ-ト	基礎材	型 枠	モルタル	1号ブロック	2号ブロック	コーナ-ブロック	H=1.0m	
1500 × 900	910	600	0.06 m ³	0.70 m ²	0.57 m ²	0.004 m ³	1.0 本	2.0 本	2.0 本	3.74 m ²	
1500 × 1200	1210	900	0.07	0.85	0.69	0.005	3.0	—	2.0	4.34	

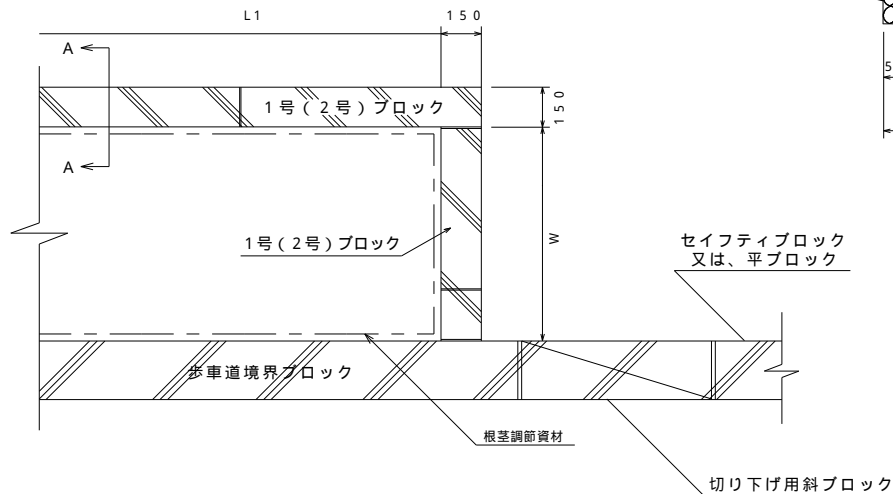
断面図



注意事項

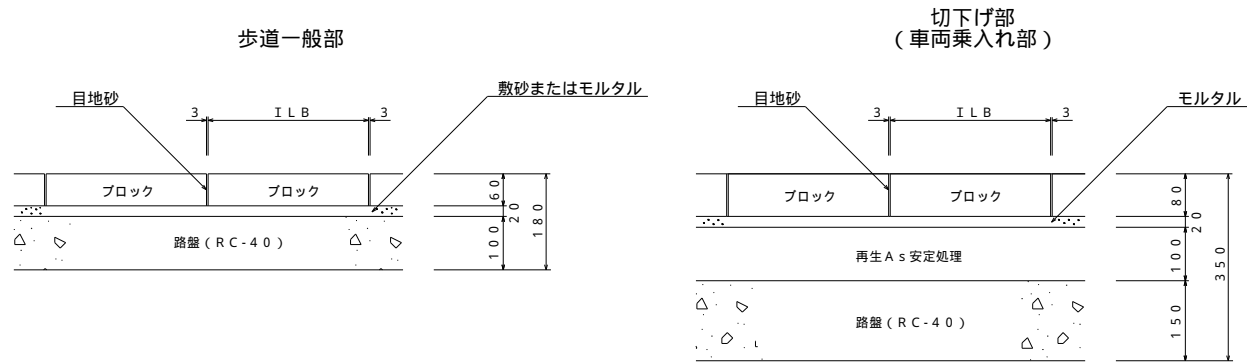
1. 植樹帯を設置する場合、起・終点付近は低木を植栽する。
2. ブロックは並木柵ブロック(C種)を標準とする。
3. 根茎調節資材の深さは1.0mを標準とする。
4. ブロックの目地間隔は、5mmとする。
5. ブロック天端高は、歩道の縦断勾配に合わせる。

植樹帯



規格	材 料 表 (10m当り)					根茎調節資材
	コンクリ-ト	基礎材	型 枠	モルタル	ブロック	
900用	0.20 m ³	2.5 m ²	2.0 m ²	0.015 m ³	11.0 個	2(W+L1) m ²
600用	0.20 m ³	2.5 m ²	2.0 m ²	0.015 m ³	16.5 個	2(W+L1) m ²

歩道インターロッキングブロック



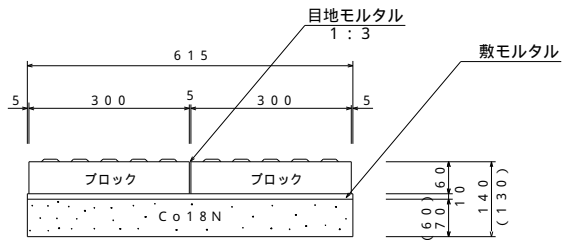
注意事項

1. インターロッキングブロックは標準ブロックとする。透水性ブロック等を使用する場合は、透水シート・フィルター材などを別途考慮する。
2. 敷砂及びモルタル(空練)の厚さは20mmを標準とする。
3. 目地砂は乾燥ケイ砂など充填性の良いものを使用する。

歩道 視覚障害者誘導用ブロック

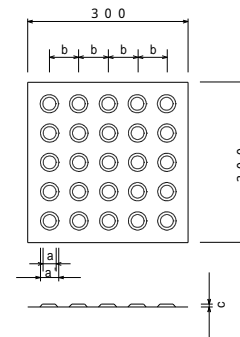
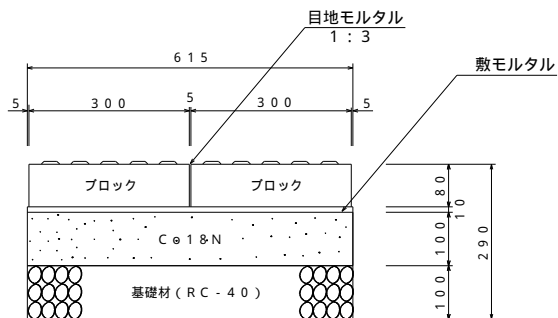
視覚障害者誘導用ブロック

歩道一般部

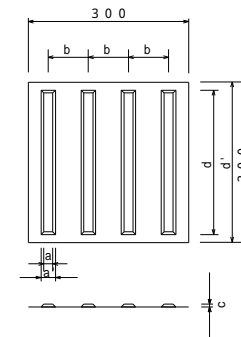


() 数字は、舗装構成が表層3cm、路盤10cmの場合

切下げ部



記号	寸法	許容差
a	12	+1.50
a'	a+10	
b	55~60	+10
c	5	



記号	寸法	許容差
a	17	+1.50
a'	a+10	
b	75	+10
c	5	
d	270以上	d+10
d'	d+10	

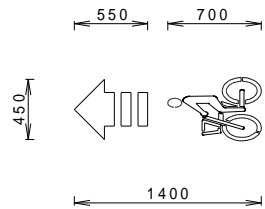
注意事項

1. 点字ブロック（線状及び点状）は、JIS T 9251で定める突起の形状・寸法及びその配列の製品を使用する。また、点状突起はハードーム型とする。
2. 目地モルタルの幅は5mm、敷モルタル厚さは10mmとする。
3. ブロック表面の色彩は原則黄色とする。
4. 線状ブロックを切断して使用した場合は、切断部分を面取りすること。
5. 透水性ブロックは原則使用しないものとする。
6. 工業地、商業地などの大型車乗入部の場合は別途考慮すること。

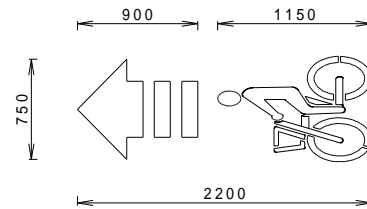
自転車通行帯 路面標示 ピクトグラム

自転車マーク

幅の狭いタイプ(幅450mm)

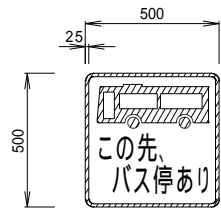


幅の広いタイプ(幅750mm)

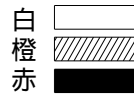
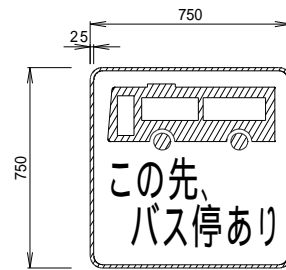


バス停マーク

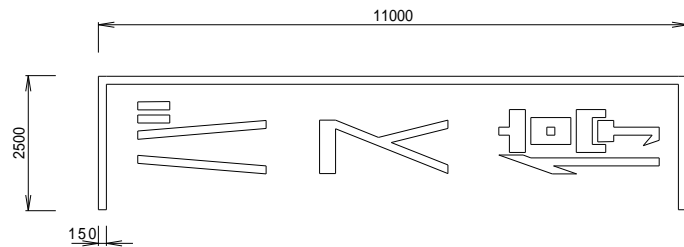
幅の狭いタイプ(幅450mm)



幅の広いタイプ(幅750mm)



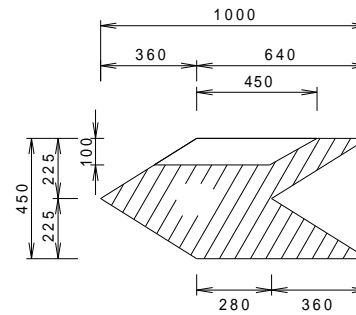
バス停表示



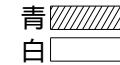
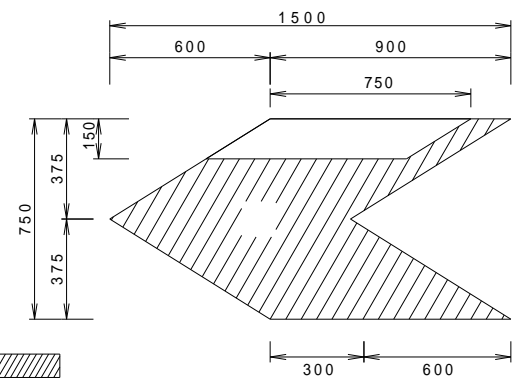
現地の状況によりこれによりがたい場合は、別途バス事業者と協議する。

自転車通行帯(矢羽型)

幅の狭いタイプ(幅450mm)



幅の広いタイプ(幅750mm)



見通しの良い道路において、最大間隔を30mとすることができる。

「幅750mm」タイプは、幹道及びバス路線で、歩道が両側にあり歩車分離されている路線での使用を標準とし、配置についてこれによりがたい場合は、道路管理者と協議とする。

注意事項 規格 仕様

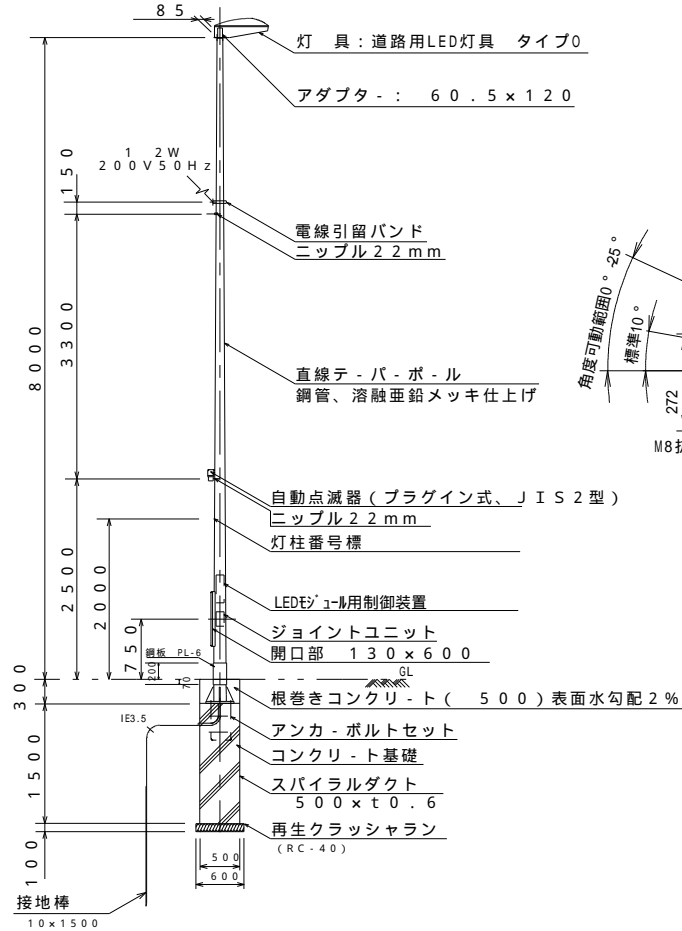
名称	自転車通行帯		自転車マーク	バス停マーク	バス停表示
規格	溶融噴射式 路面表示塗装		溶融噴射式 路面表示塗装	加熱溶着式 路面表示シート	溶融式 路面表示塗装
塗布厚	1.7mm	1.5mm	1.5mm		1.5mm
標準色	青	白	白	白 橙 赤	白
品質	JIS K 5665 (路面標示用塗料) 3種を準拠	JIS K 5665 (路面標示用塗料) 3種2号を準拠	JIS K 5665 (路面標示用塗料) 3種1号規格		JIS K 5665 (路面標示用塗料) 3種1号規格
特記	硬質骨材含有	硬質骨材含有			

原則、鉛及びクロム化合物を含有していないこと。

道路照明灯設置工

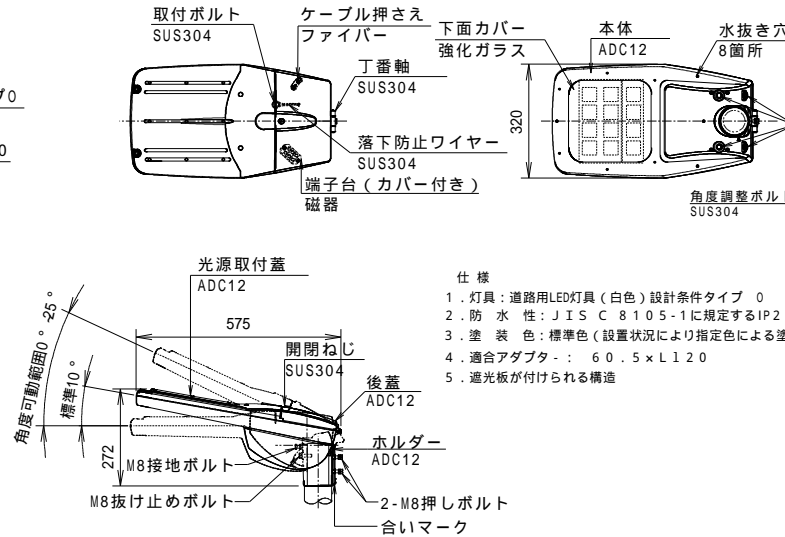
(直線テーパポール、単独、ベースプレート)

一般図



- 仕様
- ボルトは溶融亜鉛メッキ(JIS H8641 2種 HDZ55)仕上げとする。(設置状況により指定色による塗装仕上げ)
 - 灯具の仕様は「道路・トンネル器材仕様書」(建設電気技術協会)による。

灯具仕様(参考図)



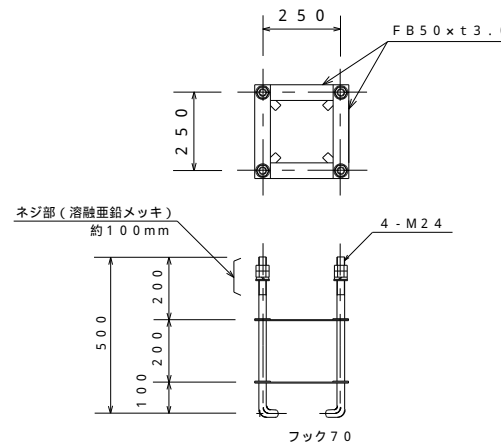
材料表(1基当たり)

名称	規格・形状寸法	単位	数量
直線テーパポール	溶融亜鉛メッキ仕上げ	本	1
灯具	定格光束 7,000 lm 以上	個	1
自動点滅器	200V 6A JIS 2型	個	1
LEDチューブ用制御装置	定格消費電力82W以下 効率90%以上	個	1
ジョイントユニット	防滴型 単独用	個	1
灯柱番号標	100×200mm(高輝度反射シート)	枚	1
ケーブル	引込回路 EM-CE5.5 -2C	m	8.7
ケーブル	点滅回路 EM-EEF1.6 -3C	m	2.3
ケーブル	灯具回路 EM-EEF1.6 -3C	m	7.8
ケーブル	接地回路 IE3.5	m	1.5
接地明示ピン	ED	本	1
コンクリート	18N(基礎・根巻き)	m ³	0.36
型枠	(根巻きコンクリート用)	m ²	0.50
基礎砕石	RC-40	m ³	0.03
スパイラルダクト	500×0.6	m	1.5
アンカーボルトセット	4×M24-L500	組	1
接地棒	D種接地 10×1500	本	1

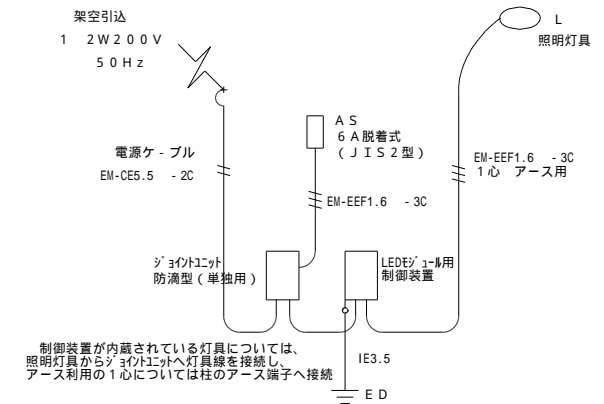
注意事項

- 必要に応じて、照明灯具に遮光板を設ける。
- アンカーボルトが露出する際は頭部にキャップをする。
- ベースプレート付近の埋込み部には、タールエポキシ塗料を塗布する。
- 根巻きコンクリート天端は、水勾配をつける。

アンカーボルトセット



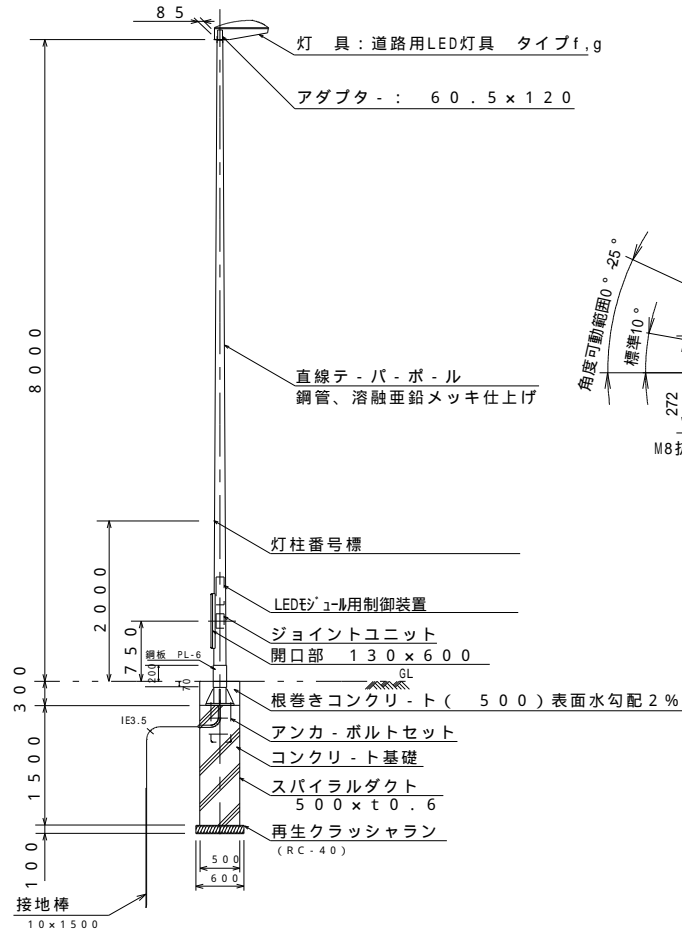
照明灯単線結線図



道路照明灯設置工

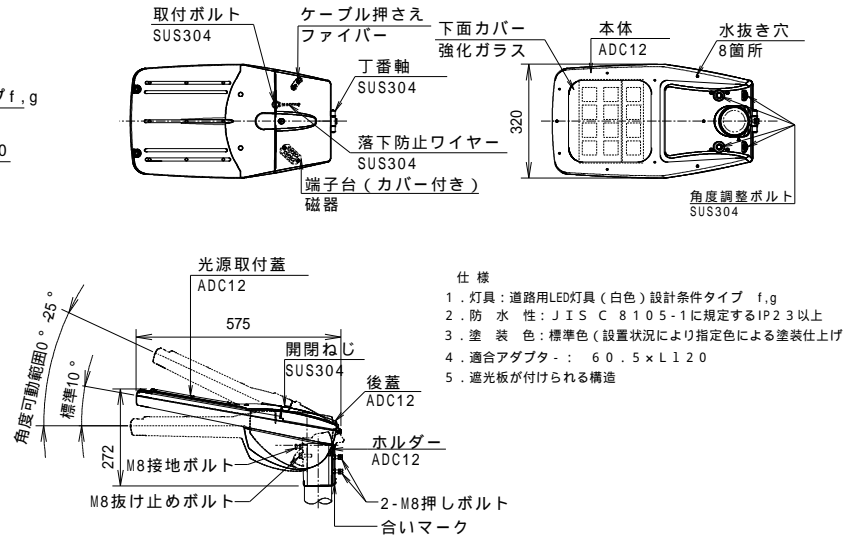
(直線テーパポール、連続、ベースプレート)

一般図



- 仕様
- ボルトは溶融亜鉛メッキ (JIS H8641 2種 HDZ55) 仕上げとする。
(設置状況により指定色による塗装仕上げ)
 - 灯具の仕様は「道路・トンネル器材仕様書」(建設電気技術協会)による。

灯具仕様 (参考図)



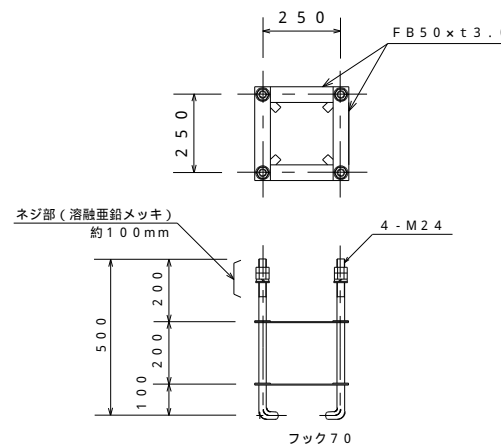
材料表 (1基当たり)

名称	規格・形状寸法	単位	数量
直線テーパポール	溶融亜鉛メッキ仕上げ	本	1
灯具	定格光束 7,000 lm 以上	個	1
自動点滅器	200V 6A JIS2型	個	1
LED制御装置	定格消費電力82W以下 力率90%以上	個	1
ジョイントユニット	防滴型 接続用	個	1
灯柱番号標	100 x 200mm (高輝度反射シート)	枚	1
ケーブル	灯具回路 EM-EF 1.6 -3C	m	7.8
ケーブル	接地回路 IE3.5	m	1.5
接地明示ピン	E D	本	1
塩ビ管	13 結露排水用	m	1.5
コンクリート	18N (基礎・根巻き)	m ³	0.36
型枠	(根巻きコンクリート用)	m ²	0.50
基礎砕石	RC-40	m ³	0.03
スパイラルダクト	500 x 0.6	m	1.5
アンカーボルトセット	4 x M24 - L500	組	1
接地棒	D種接地 10 x 1500	本	1

注意事項

- 必要に応じて、照明灯具に遮光板を設ける。
- アンカーボルトが露出する際は頭部にキャップをする。
- ベースプレート付近の埋込み部には、タールエポキシ塗料を塗付する。
- 根巻きコンクリート天端は、水勾配をつける。

アンカー - ボルトセット



照明灯単線結線図

